
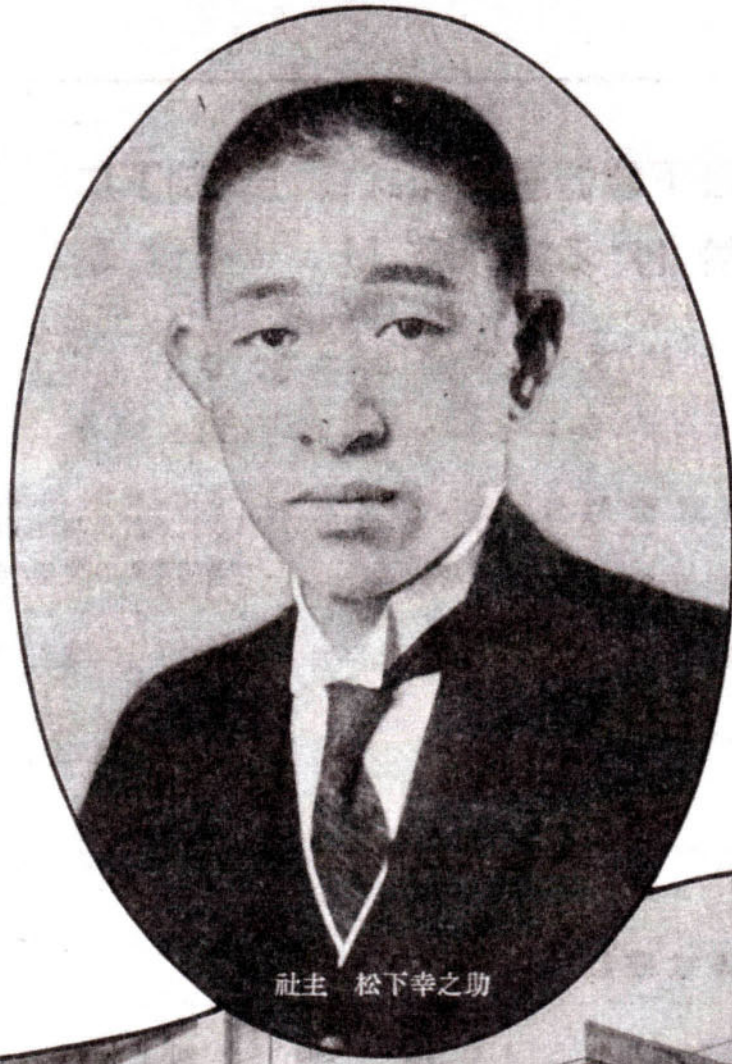


全製品型錄

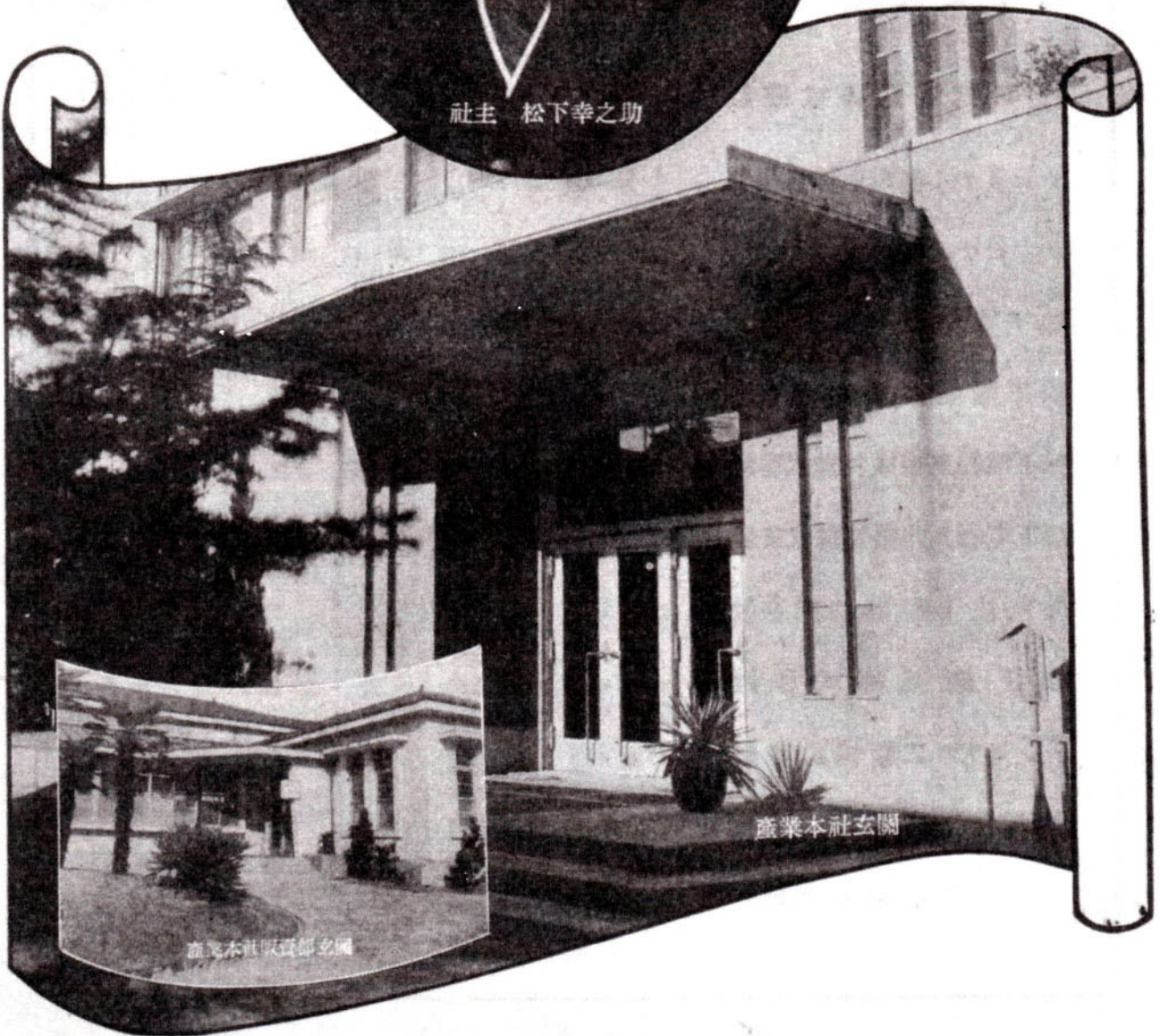


昭和十六年度
第二版

 松下電器産業株式會社



社主 松下幸之助



商業本社玄関

産業本社販賣部玄関

松下電器産業株式會社統制下に 於ける諸會社 一覽表

松下電器産業株式會社

資本金・壹千萬圓

松下電工株式會社	資本金・貳百萬圓	(各種電熱器、電氣爐、配電盤及電氣計器の製造販賣)
松下電動機株式會社	資本金・壹百萬圓	(各種電動機及電力發生機並に同附屬部分品の製造販賣)
松下金屬株式會社	資本金・四百萬圓	(各種工作機械及金屬部分品の製造販賣)
松下無線株式會社	資本金・五百萬圓	(各種ラヂオ受信機、強力擴聲裝置及無線通信機並に部分品の製造販賣)
松下電器株式會社	資本金・貳百五十萬圓	(各種配線器具、合成樹脂化學製品、照明器具及積層板の製造販賣)
松下乾電池株式會社	資本金・六百五十萬圓	(各種乾電池、空氣乾電池、空氣電池、ランプ及乾電池應用燈火用器具、人工滿俺の製造販賣)
ナショナル蓄電池株式會社	資本金・壹百萬圓	(各種蓄電池の製造販賣)
ナショナル電球株式會社	資本金・四拾萬圓	(各種電球の製造)
松下電器貿易株式會社	資本金・參拾萬圓	(松下電器製品の輸出及び各種電器材料の輸入)
松下電器商事株式會社	資本金・壹百萬圓	(松下電器製品の電燈會社方面に對する販賣)
松下電器東京販賣株式會社	資本金・四拾八萬圓	(松下電器製品の關東方面販賣)
松下電器九州販賣株式會社	資本金・拾五萬圓	(松下電器製品の九州方面販賣)
九州松下商事株式會社	資本金・拾萬圓	(九州に於ける松下電器全製品の大口販賣)
松下鑛業株式會社	資本金・貳拾九萬圓	(滿俺・黑鉛の採掘製鍊)
ナショナル工業株式會社	資本金・拾貳萬圓	(金屬、加工、押物、罐類の製作)
滿洲松下電器株式會社	資本金・壹百萬圓	(滿洲に於ける各種電氣器具の製造販賣)
上海松下電業株式會社	資本金・五拾萬圓	(上海に於ける各種電池及び電氣機械器具の製造販賣)

松下電器全製品型錄

總目次

松下電器産業株式會社 (1 - 1 - 8)

松下電工株式會社

電氣爐の部 (E- 1 - 48)

配電盤の部 (E- 49-124)

分電盤の部 (E-125-146)

一般電熱製品の部 (E-147-156)

松下電動機株式會社

電動機の部 (M- 1 - 22)

松下金屬株式會社

工作機械の部 (ME -1 -12)

精密切削工具の部 (ME -13-20)

松下無線株式會社

船舶無線及部分品の部 (R- 1 - 10)

測定器の部 (R- 11 - 20)

強力擴聲裝置及部分品の部 (R- 21 - 44)

クリスタル製品及
ナショナル電解蓄電器の部 (R- 45 - 62)

家庭用ラジオ受信機
及部分品の部 (R- 63 - 90)

松下電器株式會社

合成樹脂製品の部 (W- 1 - 20)

機械部製品の部 (W- 21 - 32)

配線器具の部 (W- 33 - 66)

コンデンサの部 (W- 67 - 108)

松下乾電池株式會社

電池・燈器の部 (D- 1 - 28)

電極の部 (D- 29 - 34)

特許電解金屬マンガンの部 (D- 35 - 38)

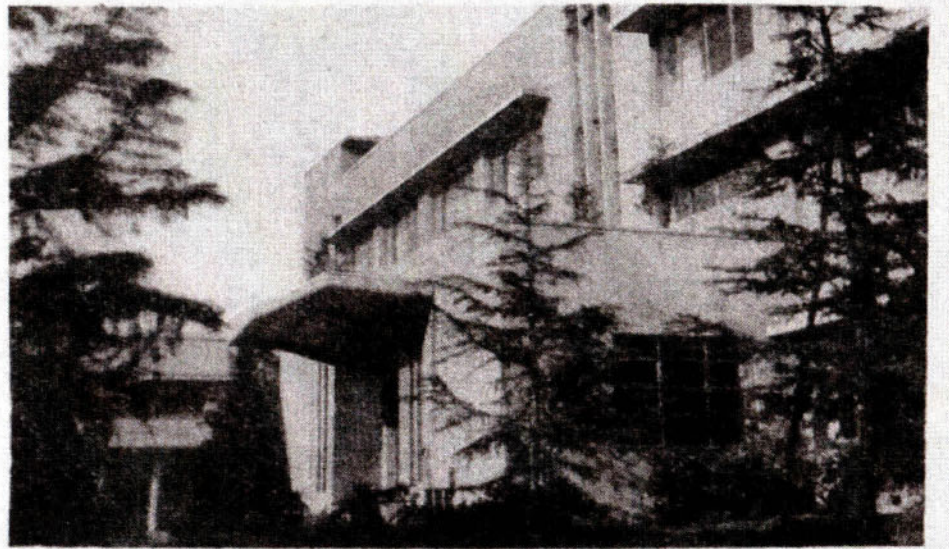
ナショナル蓄電池株式會社

蓄電池の部 (S- 1 - 14)

ナショナル電球株式會社

電球の部 (L- 1 - 22)

松下電器産業株式會社



松下電器産業株式會社

本社所在地	大阪府北河内郡門真町大字門真千六番地
商號	松下電器産業株式會社
創立	昭和拾年拾貳月拾五日 (當社の前身 松下電器製作所は大正七年參月七日の創立なるも昭和拾年拾貳月拾五日之れを本社並に九分社の株式會社に組織の變更をなせり)
資本金	金壹千萬圓
營業種目	1. 各種製品の製造販賣 1. 各種事業に對する投資並に之が事業の委任經營の引受 1. 各種事業に對する資金の融通並に其債務の保證 1. 前各項に關聯する一切の業務
營業所及出張所	本社 松下電器産業株式會社 大阪府北河内郡門真町大字門真千六番地 出張所 松下電器産業株式會社 名古屋出張所 松下電器産業株式會社 京城出張所

松下電器産業株式會社工業所有權

昭和16年1月現在

内國	特許權	119件	外國	特許權	78件
	實用新案權	1,154件		意匠權	18件
	意匠權	120件		商標權	46件
	商標權	244件		計	142件
	計	1,637件			

總計 1,779件

綱 領

營利と社會正義の調和に念慮し國家産業の發達を圖り社會生活の改善と向上を期す

信 條

向上發展は各員の和親協力を得るにあらざれば難し各員自我を捨て互讓の精神を以て一致協力社務に服すること

松下電器の遵奉すべき精神

産業報國の精神

産業報國は當社綱領に示す處にして我等産業人たるものは本精神を第一義とせざるべからず

公明正大の精神

公明正大は人間處世の大本にして如何に學識才能を有するも此の精神なきものは以て範とするに足らず

和親一致の精神

和親一致は既に當社信條に掲ぐる處個々に如何なる優秀の人材を聚むるも此の精神に缺くるあらば所謂馬合の衆にして何等の力なし

力闘向上の精神

我等使命の達成には徹底的力闘こそ唯一の要諦にして眞の平和も向上も此の精神なくては贏ち得られざるべし

禮節謙讓の精神

人にして禮節を紊り謙讓の心なくんば社會の秩序は整はざるべし正しき禮儀と謙讓の徳の存する處社會を情操的に美化せしめ以て潤ひある人生を現出し得るものなり

順應同化の精神

進歩發達は自然の攝理に順應同化するに非ざれば得難し社會の大勢に御せず人爲に備するが如きにては決して成功は望み得ざるべし

感謝報恩の精神

感謝報恩の念は吾人に無限の悦びと活力を與ふるものにして此の念深き處如何なる艱難をも克服するを得眞の幸福を招來する根柢となるものなり

經營の心得

- ◎經營と言ひ、商賣と言ひ、これ皆公事にして私事にあらず、商賣大切にその道に盡すは君國に忠誠を效すと同じきなり、従つて商賣は常に公の心を以て行ひ、聊も私心を挟まざるやう心懸くべし
- ◎良き經營は社會を益し、悪き經營は社會を毒す、されば良き經營を行ふためには各自肝膽を砕くべきものと心得べし
- ◎御留意先大切に存じて謝恩の念を怠らずその繁榮のため常に粉骨碎心するはこれ社會報恩の第一歩と心得べし

沿 草

大 正 6 年

5 月 濫 膾

松下電器産業株式會社の前身、松下電器製作所は現社主松下幸之助の創設せるものでありまして、電氣事業の發展に貢獻せんとする意圖を劃し、電氣器具に關する研究に着手致しました。

大 正 7 年

3 月 創 立

大阪市此花區大開町一丁目に小規模の工場を設けて、獨創的考案に基くアタツチメントプラグを製造し、次いで二燈用差込プラグ二燈用クラスター等の配線器具類の製造販賣を始めました。

大 正 11 年

6 月 擴張の第一歩

大阪市此花區大開町一丁目七三番地に 200 餘坪の工場を新設し従業員 50 餘名、月産 15,000 餘圓、製品 10 數種の狀態となりました。

大 正 12 年

9 月 輪燈界へ進出

自轉車燈として、ローソクの不便より輪燈の電化を研究し、先づ砲彈型自轉車電燈を完成しましたが、大正 14 年 6 月更に之を改良し、小型ナショナルランプを發賣致しました。本品は實用に極めて適合する製品である故、ナショナルランプは自轉車燈の代名詞と迄なりました。

昭 和 2 年

1 月 電熱器具の製造

先づ家庭用スーパーアイロンを手始めとしナショナルアイロン、電氣七輪、電氣コタツ、電氣ストーブ、更に職業用、工業用電熱器の製作を續けてゆきました。

昭 和 6 年

3 月 ラヂオ界へ進出

ラヂオ部を設け、該製品の全部分品を自家製産する一方ラヂオ技術の向上に努め、同年 10 月東京放送局（現在の中央放送局）懸賞に一等當選の榮を勝ち得、茲にラヂオ界に松下電器ラヂオ部の存在を認識して頂く様になりました。

9 月 乾電池の製造

乾電池工場を直營し、乾電池製造業者として業界に一大進出を試みました。

昭 和 7 年

10 月 擴張時代

本社及工場を大阪府北河内郡門真に建設（現在無線本社及工場）

昭和 8 年

- 1 月 マーツライト工場建設
- 9 月 三郷町に乾電池工場建設
- 11 月 電動機の製造開始
5馬力の電動機より始めました。この時より松下電器は工場用電気器具の製造にその緒をつけました。

昭和 10 年

- 2 月 蓄電池の製造
ナショナル蓄電池株式会社を創立、蓄電池の研究製造、販賣に進出致しました
- 8 月 松下電器貿易株式会社設立
積極的海外進出に備へて、従來の貿易部を株式組織に変更しました。
- 10 月 コンチットチューブ及びその部分品販賣
松下電器第三事業部ではコンチットチューブ及び其部分品の製造販賣を開始致しました。
- 12 月 株式組織に変更
本社を松下電器産業株式会社と呼稱し、同時に各關係事業會社を獨立せしめ會社 9 社（新設 6 既設 3）を以つてする松下コンツェルンの基を形成しました。

昭和 11 年

- 6 月 ナショナル電球の製造
ナショナル電球株式会社を興し、純國産の優秀電球の完成を目指して着々その業務を開始致しました。

昭和 12 年

- 11 月 工業電熱部設置
電気爐、配電盤、其他計器類の製作に進出いたしました。

昭和 13 年

- 3 月 工作機械の製造に着手
時代の要求に應じ松下金屬株式會社に於いて強力な機械部を基礎として「松下の工作機」の名の下に優秀工作機械の製作販賣を開始致しました。
- 4 月 松下無線東京研究所の設置
無線機器に關する基礎的研究の向上を計る目的を以て當研究所を創設致しました。
- 7 月 無線部設置
船舶用無線機器、高級無線通信機の製作に積極的進出を試みました。
- 9 月 滿洲松下電器株式會社誕生
滿洲全般に於ける電気器具の配給を目的として大陸の強力配給陣を形成しました。

10月 松下電器東京販賣株式會社設立

關東、東北方面への強力販賣と配給の合理化を計劃し、各社出張所業務を統合し同地方販賣を一手に引受ける事となりました。

10月 松下電動機株式會社設立

従來の松下電器産業株式會社電動機工場は事業の發展に伴ひ松下電動機株式會社として分離獨立しました。

11月 松下電器商事株式會社改稱

従來の松和電器商事株式會社は松下電器産業株式會社特賣部の事務一切を繼承、電氣供給事業方面及び特殊大口方面への配給萬全を期し、松下電器商事株式會社と改稱しました。

昭和14年

9月 松下電器九州販賣株式會社設立

九州方面の配給合理化のため新規に會社を設立、各社出張所事務を統合し同地方の配給を一手に引受ける事となりました。

昭和15年

1月 九州松下商事株式會社設立

九州方面の官廳、會社、百貨店、大口需要家への強力販賣陣を計劃設立されました。

1月 松下電業株式會社設立

中支方面へ進出の爲上海に會社を設立、乾電池の製造販賣及無線機器、電氣器具各種の販賣を開始致しました。

2月 電解金屬滿俺工場操業開始

松下乾電池株式會社に於ては多年の研究の結果、昭和13年末研究を完成した電解金屬滿俺の工業化を急ぎつゝ、ありましたが、第一期工場の竣工を見、紀元の佳節を卜して操業を開始しました。本製法による電解金屬滿俺は純度99.8%の純粹金屬滿俺にして斯界獨歩のものであり、之が工業化は世界最初の事であります。

3月 ナショナル工業株式會社改稱

従來株式會社浪速製罐所の名の下に活躍致して居りましたがその内容を一層充實強化すべくナショナル工業株式會社と改稱致しました。

8月 松下電工株式會社と改稱

従來の松下電熱株式會社を松下電工株式會社と改稱し生産擴充に不可缺の電氣爐、配電盤を愈々積極的に製造することになりました。

10月 松下鑛業株式會社合併

従來のナショナル滿俺株式會社は本年6月4日業容の發展に適合する様松下鑛業株式會社と社名變更をしましたが今回創業當時より相提携し來ました辻中滿俺株式會社を合併し、兩社の力を併せて滿俺不足の現時局下に於て滿俺資源の積極的開發に邁進すること、となりました。



光 榮 録

1. 昭和七年十一月

長くも 聖上陛下陸軍特別大演習御統監の恩召を以て大阪に行幸あらせられし砌、ナショナル乾電池、ナショナルランプ、ナショナル受信機、ナショナルアイロンに於て天覽の榮に浴し、更にナショナル受信機に就ては特に御買上の光榮を拜受じ、只管恐懼感激致して居ります。

1. 昭和九年十一月

日本産業協會總裁 伏見宮博恭王殿下より産業功勞者として社主松下幸之助が表彰を受けました。

1. 昭和十年十月

長くも 秩父宮殿下御宿所に備付けの爲ナショナル受信機の御採用を賜りました。

1. 昭和十年十二月

長くも 東久邇宮殿下の台臨を忝うじ、親しく工場御視察の光榮に浴しました。

1. 昭和十一年六月

孝王職家より本年度新發賣マーツ電氣扇御買上の榮を賜りました。

1. 昭和十二年五月

名古屋市主催の太平洋博覽會に於いて同博總裁 東久邇宮殿下より産業獎勵の恩召を以つてナショナル電氣蓄音機を御買上の光榮に浴しました。

1. 昭和十二年七月

長くも 皇太后陛下關西行營の砌、五球スーパーヘトロダイン式ナショナル受信機 台覽の榮を賜りました。

1. 昭和十四年四月

長くも 朝香宮殿下の台臨を忝うじ弊社工場及び社員養成所御視察の榮を賜りました。

1. 昭和十四年六月

無線會社東京研究所にて朝香宮家御召自動車に自動車用ナショナルスーパー受信機備付の光榮に浴しました。

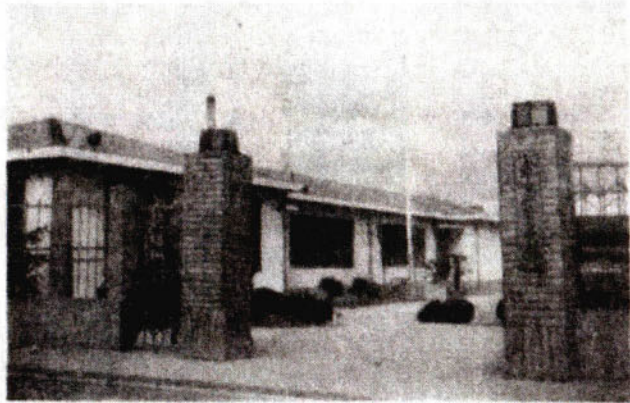
1. 昭和十四年七月

電氣發明展覽會出品の松下式テレビジョンは長くも 高松宮殿下台覽の光榮に浴しました。

従業員福利施設

社員養成所

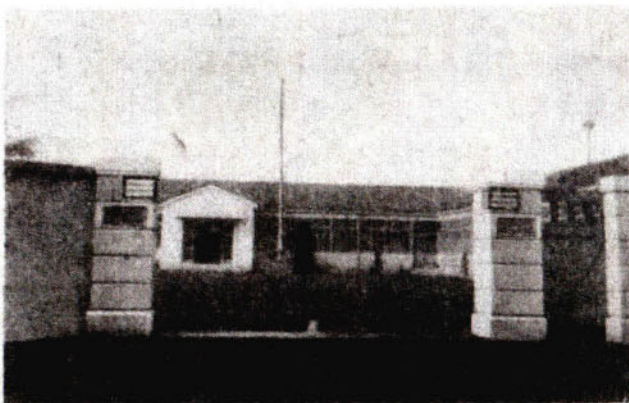
商工業に従事する者に須要なる智識技能を授け、實務的訓練、徳性の涵養に質實剛健なる心身の養成を目的として昭和九年四月（松下電器製作所時代）店員養成所を設立したものでありましたが更に内容を充實強化して昭和十五年第一學年より電氣科、機械科の二分科に分ち、主として技術社員の養成に努めて参りました。



本養成所の修業年限は三ケ年にして其年度の尋常小學校又は高等小學校卒業者及び高等小學校一年修了者を試験詮衡の上入所せしめ、午前中四時間を學科教授、午後四時間を實習時間として教授訓練を施してゐます。

青年學校

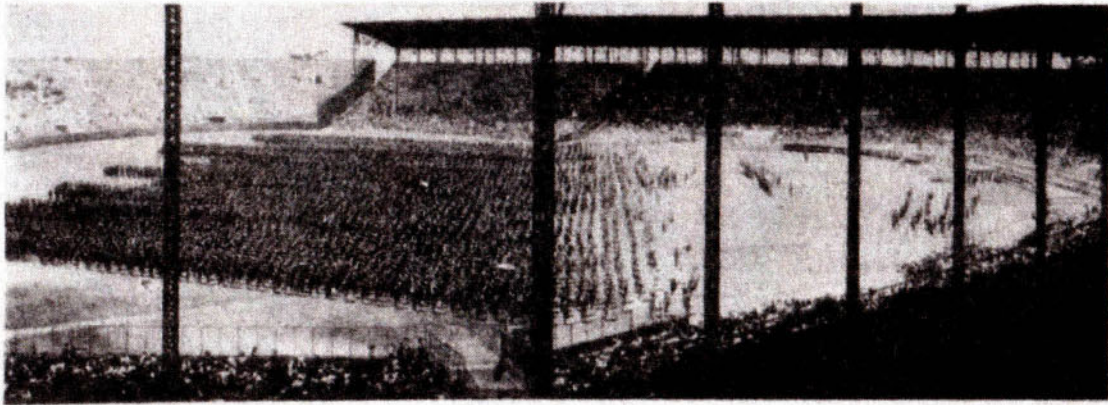
文部省の青年學校令に基いて設置したもので主として工場關係の男女従業員を收容し、徳性の涵養心身鍛鍊並に業務上必要なる智識を修得せしむると同時に一般社會人としての修養をなさしむる事を目的としてゐます。殊に昭和十四年度より青年學校の義務制が實施せられてから無線、乾電池、電器



電工、金屬、電動機、電球の各分社に男女各青年學校を一校宛附設しこの大目的に向つて邁進して居ります。

歩 一 會

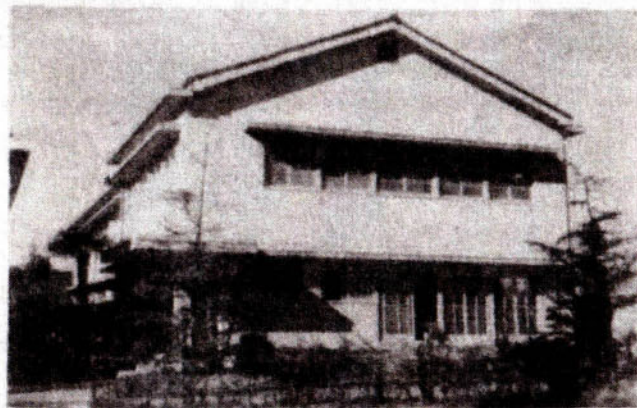
大正九年三月松下電器製作所の従業員を以て組織し、會員相互の親睦、救済、保健を計り、以て福利増進並に人格陶冶に資してゐます。本會の事業は事業部、救済部、



娛樂部、保健部に依り遂行すること、し各所屬毎に分會又は支部を設けて之が統制を圖つて居ります。

見習社員寮

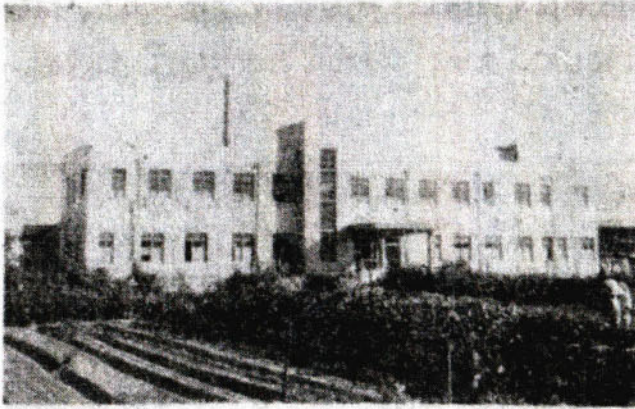
二十五歳迄の社員（主として見習社員）は全部、社内居住を原則とし本社並に各分社に寄宿寮を設置し、所定の内規に依り住込勤務をなさしめ人格陶冶、勤務的訓練に努めてをります。



健康保険組合

相互扶助の精神に依り、従業員の負傷疾病に對しては完全なる醫療を施し、經濟上の不安を除くと共に、進んでは保健衛生の施設を完うして、一層其の幸福の増進を計る爲、認可を受けて設立したるものであります。

松下病院



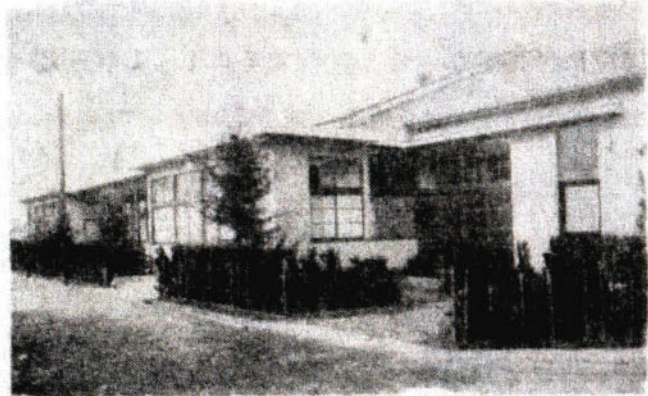
従業員及びその家族の疾病負傷に對しては完全なる醫療を施し、經濟上の不安を除くと共に工場衛生、豫防醫學に重點を置き極力健康の保持、増進を計つて居ります。現在は建坪 447 坪、病室（個室）13 室、内科、外科、理學的診療科の三科を設えて居りますが、將來は病室も増加、治療範圍も全科

に及ばず豫定であります。

松下食堂

保健衛生と食料經濟の合理化を圖るを目的とし、榮養食を門眞、三郷の各社に配給してをります。

食堂は一時に 500 人を收容し得る大規模のもので、その設備に於ても最新式の汽罐、調理施設を備へてゐます。



団体生命保險

従業員の福利増進の爲、日本団体生命保險株式會社と契約を結び一年以上の勤續従業員に對して、會社が保險料を負擔し、生命保險に加入させてをります。

萬一不幸にして死亡事故のあつた場合、弔慰料として下記の通り遺族に贈る事となつてをります。

男子従業員（成年者）	300 圓
女子及未成年男子従業員	200 圓

ラジオ以外のページは省略

松下無線株式會社

所在地
資本金
工場

大阪府北河内郡門真町
500萬圓

東京研究所
營業種目

本社工場 大阪府北河内郡門真町
十三工場 大阪市東淀川区元今里北通五丁目六
東京市品川区東品川五丁目
陸上用、船舶用、各種無線送受信機、航空用、無線通信機、軍用通信兵器、測定器用部分品類、漁船用各種無線送受信機、電氣信號機器、氣象觀測用無線機器、高周波應用製品各種、ロツシエル鹽應用製品、ラヂオ受信機竝に同部分品、強力擴聲裝置竝に同部分品

家 庭 用 ラ ジ オ

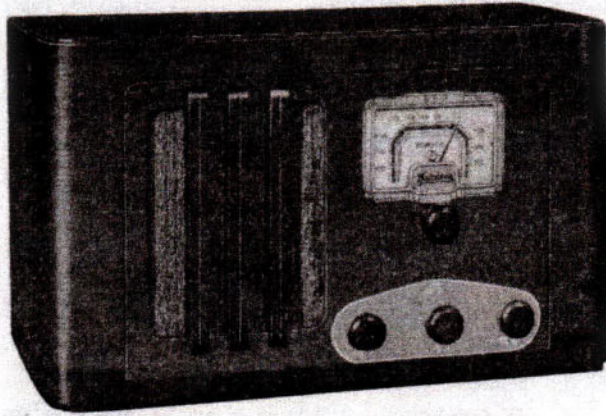
受 信 機 及 部 分 品 の 部

家庭用ラジオ 受信機及部分品の部

目 次

ナショナル受信機国民 14 號型	(R-63)
ナショナル受信機放送局型第 122 號	(R-64)
ナショナル受信機放送局型第 123 號	(R-65)
ナショナル受信機国民 2 號型	(R-66)
ナショナル受信機国民 3 號型	(R-67)
ナショナル受信機国民 6 號型	(R-68)
ナショナル受信機放送局型第十一號	(R-69)
ナショナル受信機 R-4 M 型	(R-70)
ナショナル受信機 R-5 M 型	(R-71)
ナショナル受信機 R-4 D 型	(R-72)
ナショナル受信機 R-5 D 型	(R-73)
ナショナル受信機 R-5 S 型	(R-74)
ナショナル受信機 R-6 S 型	(R-75)
S-350 型 受 信 機	(R-76)
SD-10 型 受 信 機	(R-77)
普及型 1 號 受 信 機	(R-78)
普及型 3 號 受 信 機	(R-79)
協和 1 號 型 受 信 機	(R-80)
協和 2 號 型 受 信 機	(R-81)
普及 A-11 號 型 受 信 機	(R-82)
標準 B-12 號 型 受 信 機	(R-83)
ナショナルコンデンサー	(R-84)
ナショナル 高 抵 抗	(R-85)
ナショナル ダイナミック スピーカー	(R-86)
ナショナル ヴォリューム	(R-87)
ナショナル 海軍型 抵 抗	(R-88)
ナショナル マグネチック スピーカー	(R-89)
ナショナル トランス	(R-90)

ナショナル受信機国民14 號型



幅 420 mm × 高 247 mm × 奥行 194 mm

使用球

UZ-58 UZ-57 UY-47 B KX-12 F

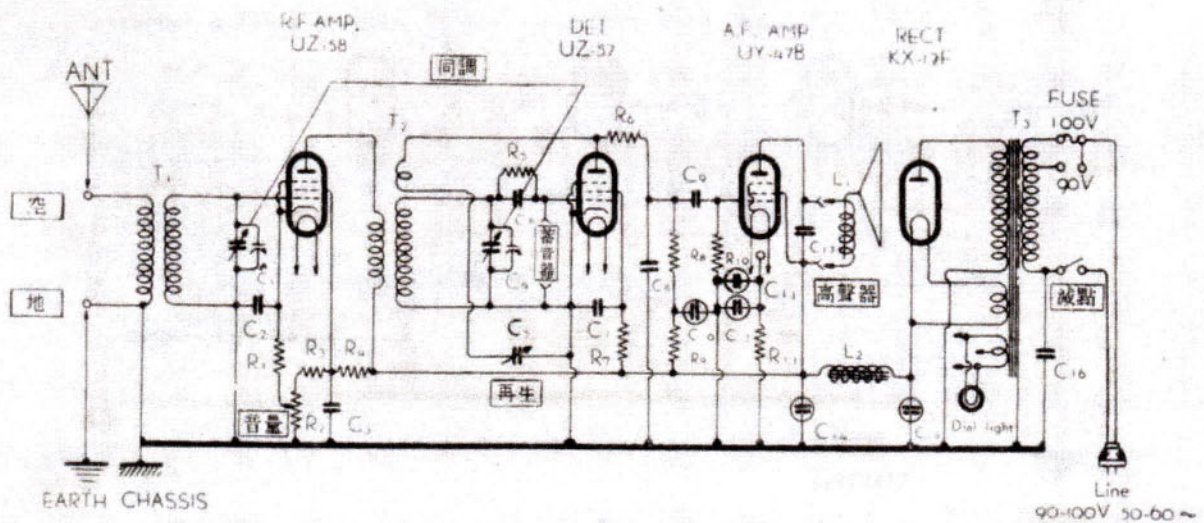
近代的要望に應へて設計しました本機は鋭敏な感度と正確な分離力を有する四球ペンツード受信機で御座居ます。落着きのあるニューススタイルは萬人必好の逸品です。

キャビネット

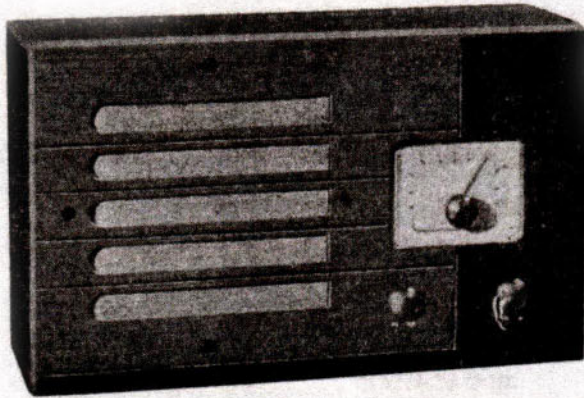
キャビネットは洗練された塗装と共に優美且堅牢です。落着きのある外觀美は和室、洋室何れにも調和する奥床しい意匠です。

機 構

1. 高周波一段増幅式再生グリッド検波に依り鋭敏な感度と的確な分離性を有して居ります。
2. オール抵抗方式の採用に依り音質が一段と向上しました。
3. 音量調整は UZ-58 バイアス（偏倚）電圧の變化に依り音量が最もスムーズに加減出來ます。



ナショナル受信機放送局型第122 號



幅 400 mm × 高 240 mm × 奥行 140 mm

使用球

12Y-R1 12Z-P1 24Z-K2 (B-49)

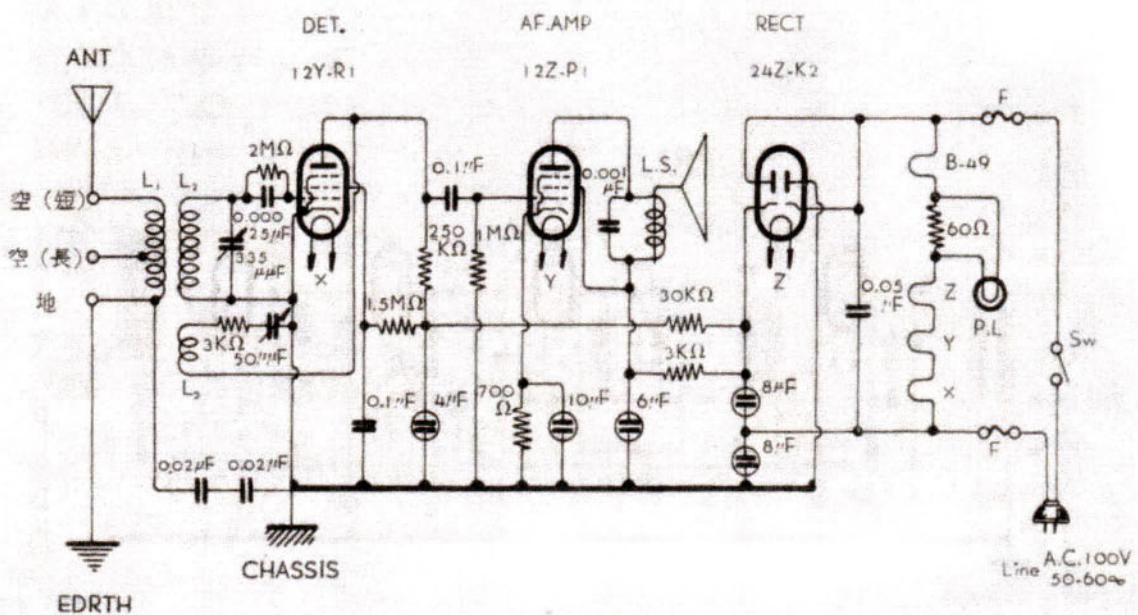
日本放送協會の制定せる局型第122 號受信機は時局下物資節約の目的に添つて制定せるトランスレス式弱電界級受信機であります。

キャビネット

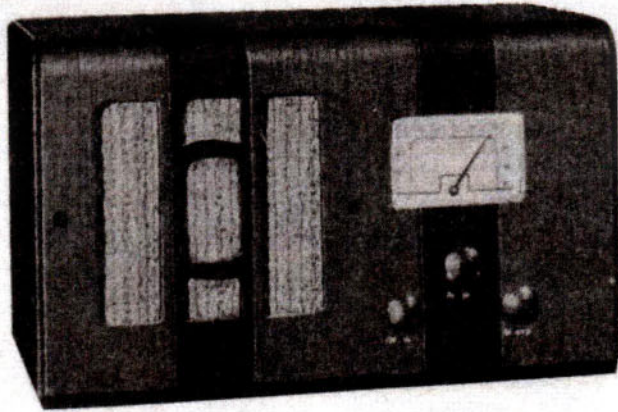
最も小型にして又簡素の中にも落ち着いた感じのする局型に想應しい意匠です。

機 構

1. 3 球トランスレス式受信機
2. 整流管には倍電壓整流管の 24Z-K 2 を採用してあります。
3. スピーカーは認定品で音質、音量共に申し分ありません。



ナショナル受信機放送局型第123 號



幅 400 mm × 高 240 mm × 奥行 190 mm

使 用 球

12Y-V1 12Y-R1 12Z-P1 24Z-K2
(B-37)

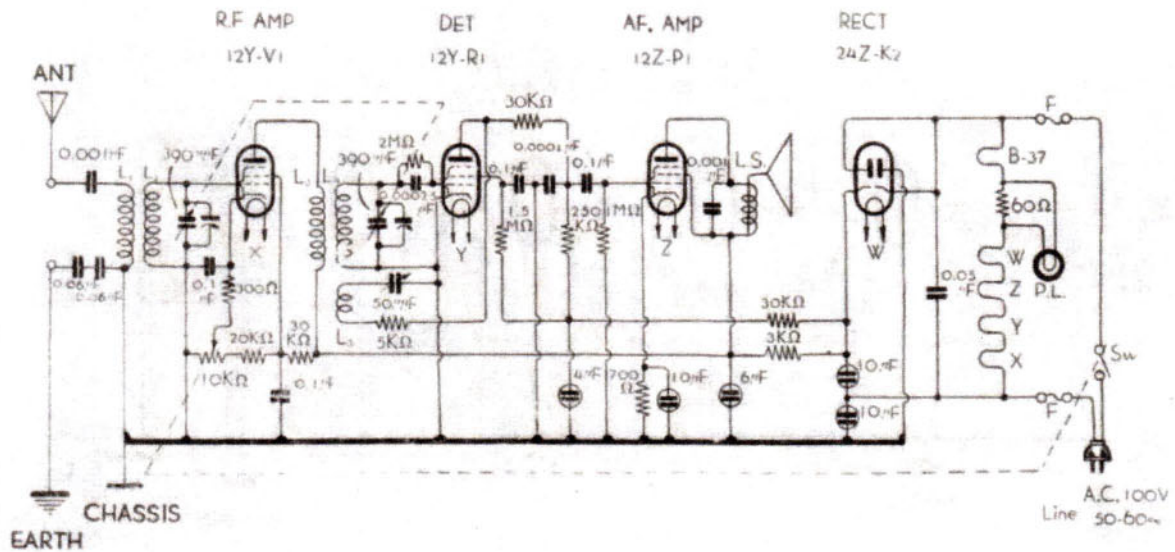
日本放送協會の制定せる局型第123 號受信機は時局下物資節約の目的に添つて制定せるトランス式微電界級受信機であります。

キャビネット

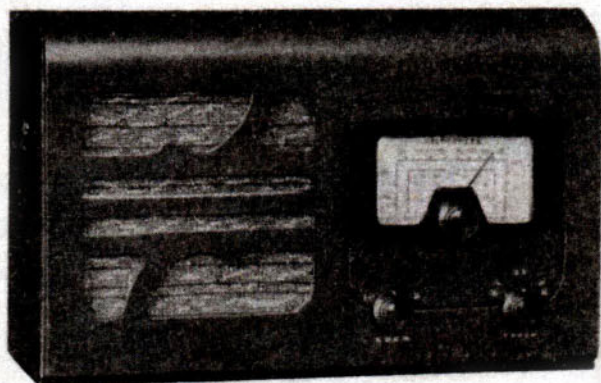
嶄新なる意匠と瀟洒なるダイヤルと共に堅實なる落着きを見せて萬人必好の受信機であります。

機 構

1. 高周波一段増幅式にて感度分離共に申し分ありません。
2. 整流管には倍電壓整流管を採用して有ります。
3. スピーカーは認定品で音質、音量共に申し分ありません。



ナショナル受信機國民 2 號型



寸 法

幅 380 mm × 高 240 mm × 奥行 170 mm

使 用 球

UZ-57 UY-56 UX-12A KX-12F

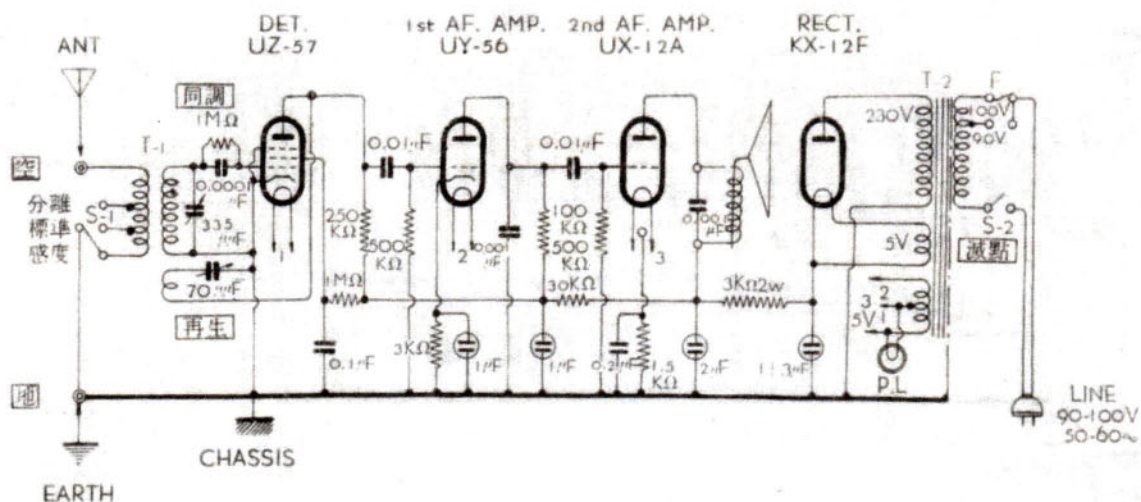
部分品の標準化と特性の高度化とは一日も止む事なくラジオ受信機を進歩させます、本機は優秀なる感度、分離と共に音質音量共に一段と優れた四球受信機の標準型とも云ふべきものです。

キャビネット

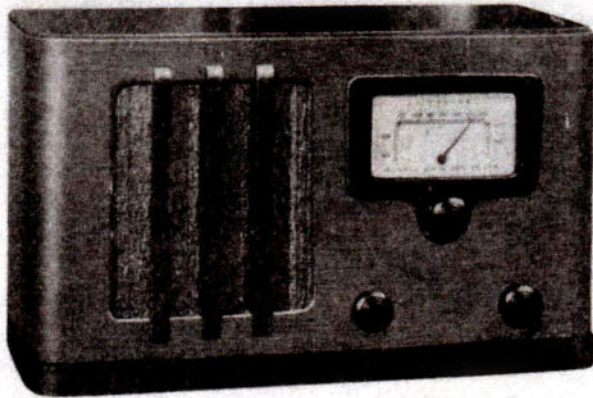
卓越せる技術と洗練された感覚を持つ此のスタイルは和室にも洋室にもよく調和する好ましい意匠です。

機 構

1. 高周波コイルには高能率の 1 吋半 ボビン を採用し感度の向上と分離の鋭敏とを備えしめました。
2. 使用球は UZ-57 をグリッド検波に UY-56 UX-12A 2 段の低周波増幅を採用して有ります。
3. スピーカーは特に本受信機用として改良された、口径 8 吋のマグネチック スピーカー で感度、音質共に申し分ありません。



ナショナル受信機国民 3 號型



寸 法
幅 424 mm × 高 247 mm × 奥行 200 mm

使 用 球

UZ-58 UZ-57 UY-56 UX-12A KX12F

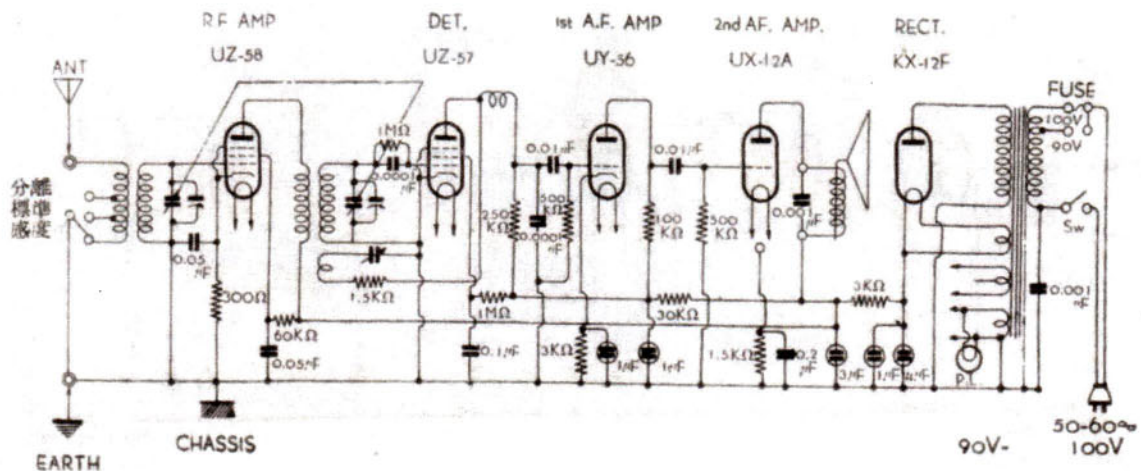
本機は遠距離用受信機として高い感度と的確なる分離性を有する5球受信機です、如何なる電界強度の低い山間僻地でも明瞭なる音量で聴取する事が出来ます。

キヤビネット

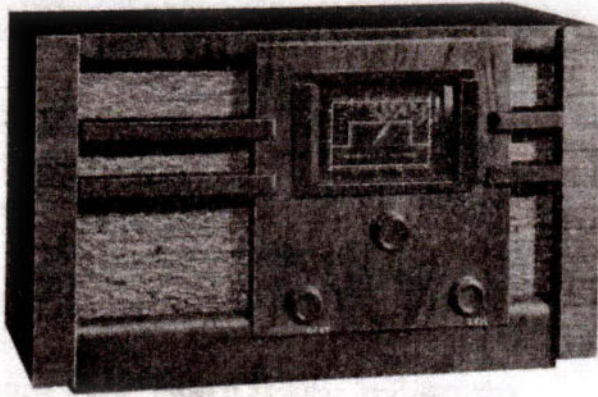
均勢の採れた、安定感の有る、優雅な意匠です、直線美に配するに曲線美を以てし、見れば見る程落付いた魅惑が感ぜられます。

機 構

1. 高周波増幅にはヴアリミュー管 UZ-58 を採用し感度分離に重點を置き遠距離用受信機としての性能を遺憾なく發揮せしめました。
2. 高周波回路にはアンテナ切換スイッチを用ひ自由に調節出来ます。
3. 増幅管に UY-56 の採用とスピーカーの改良とに依り音質が一段と向上され音量も豊富であります。



ナショナル受信機國民6號型



寸法

幅 490 mm × 高 290 mm × 奥行 211 mm

使用球

UZ-58 UZ-58 UZ-57 UZ-2A5 KX-80

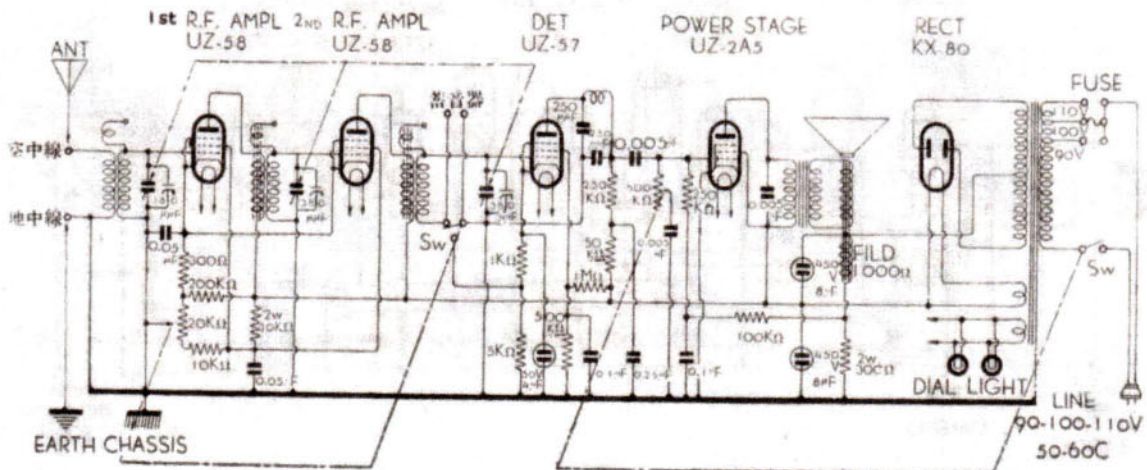
卓上型受信機界の最高級品！最新型5球ダイナミック受信機です、弊社研究員の努力は遂に高周波二段増幅の特徴を遺憾なく發揮せしめスーパー受信機に優る感度と分離を有する理想的の受信機としました。

キャビネット

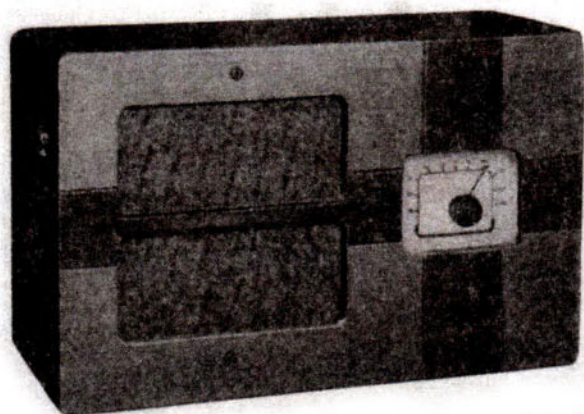
最高級受信機に相應しい壯重なる意匠、立体感に富んだ構成美の素晴らしさ全く新時代のキャビネットです。

機構

1. ダイヤルは全局名の印刷された美麗な色刷り目盛板付です。
2. 高周波増幅には高感度ヴアリミュー管 UZ-58 を二段増幅としてスーパーに優る性能を有して居ります。
3. 音質は高周波増幅にプレート検波と云ふ理想的機構に依り原音の妙味を味へる最も理想的な音質です。



ナショナル受信機放送局型第十一號



寸 法

幅 400 mm × 高 240 mm × 奥行 140 mm

使 用 球

UZ-57 UY-47 B KX-12 F

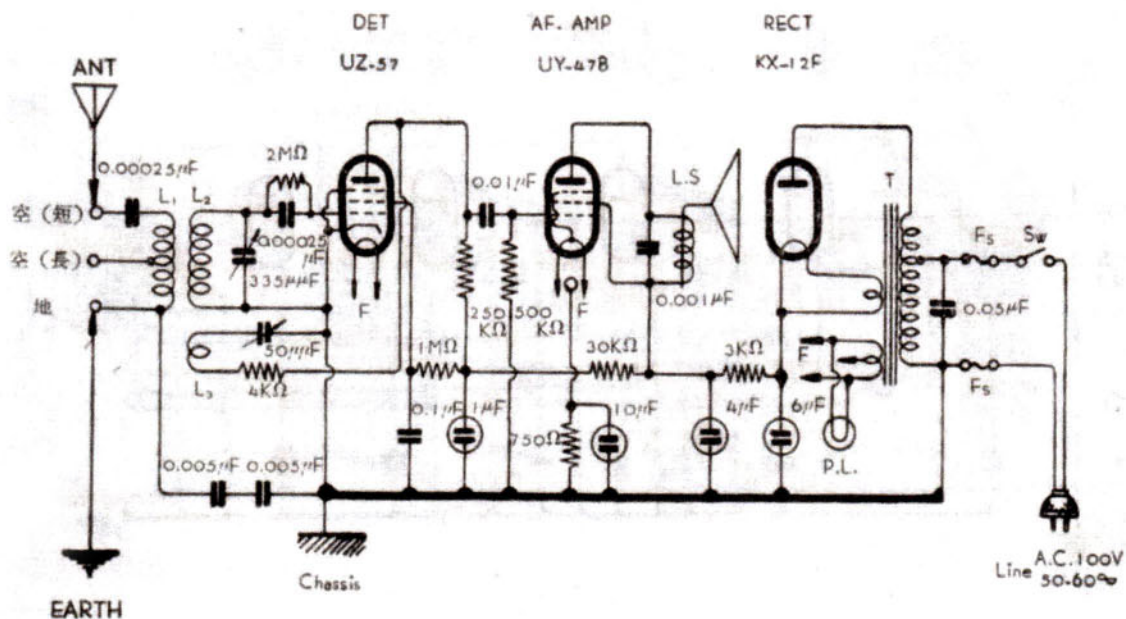
本機はラジオ技術の中心たる日本放送協會に於て多年研鑽の上世に發表せる標準型受信機でありまして、時局下に相應しい種々の特徴を有して居ります。本社に於ても日本放送協會の承認を得て製作致して居ります。

キャビネット

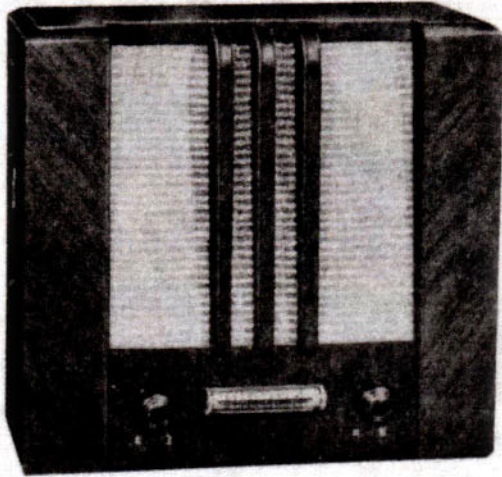
局型受信機として最も理想的な大衆にアピールしたデザインです、仕様書に制定せられた材料及び塗装に依る簡雅なキャビネットです。

機 構

1. 電源變壓器は時局下重要資材節約の爲めオートトランス方式を採用し特殊設計が施されて居ります。
2. 充電部分に容易に人体の觸れる事のなき様完全に絶縁が施され尙裏蓋はネジ止にされて居ります。
3. 3球ペントード受信機として感度、音質よく近距離用として最適です、尙使用スピーカーは認定品が採用されて有ります。



ナショナル受信機 R-4 M 型



寸 法

幅 320 mm × 高 288 mm × 奥行 140 mm

使 用 球

UZ-57 UY-56 UX-12A KX-12F

國家の重要資材を節減し、苦心の結果完成しました明るい近代調を具へた業界驚異の4球受信機であります。

ミドルキヤビネット

キヤビネットは劃期的な新傾向意匠にして戦時下に相應しい力強く、落着のある外觀美です。和室洋室何れにも調和します。

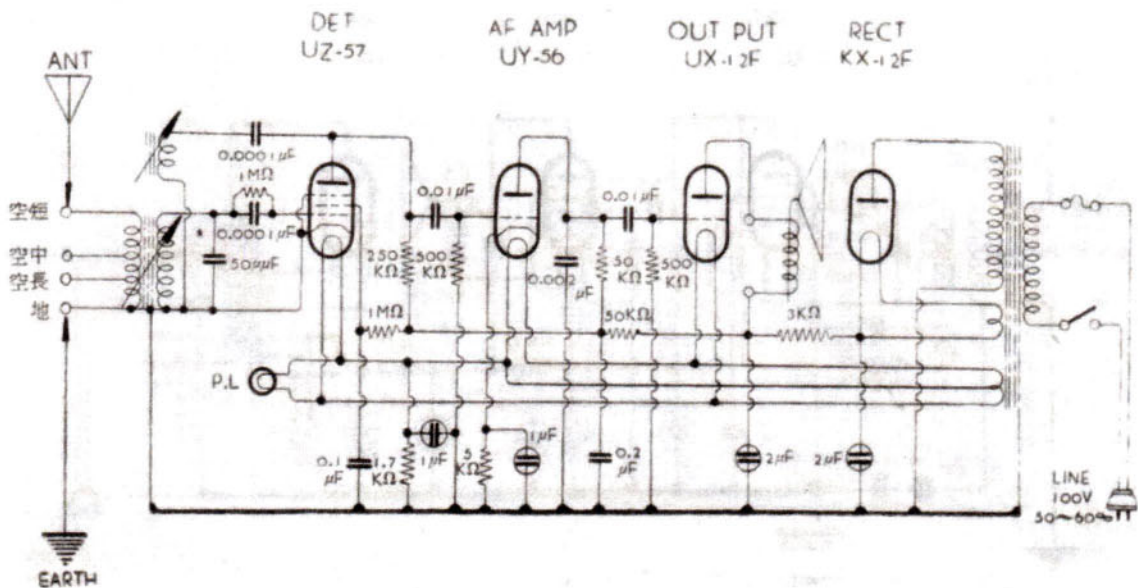
機 構

1. マイチーチューニングブロック

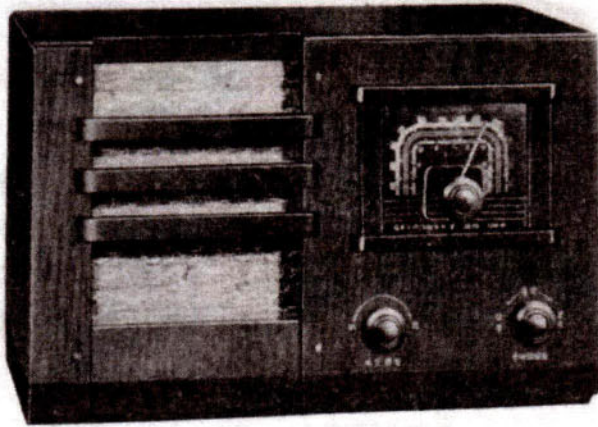
本装置はバリコンの代りにナショナル壓粉鐵芯を使用した弊社獨特の新同調方式です。本機が從來のセットに比し勝れた高性能を備へて居りますのは本装置に依るものです。

2. コンベツクスダイヤル

從來の平面的で調整困難なダイヤル機構を一新した嶄新精巧な新選波装置です。



ナショナル受信機 R-5 M 型



使用球

UZ-58 UZ-57 UY-56、
UX-12A KX-12F

本機は的確なる分離力を有する遠距離向5球受信機です。如何に感度の悪い山間僻地でも美しい音色で聴取出来ます。

キャビネット

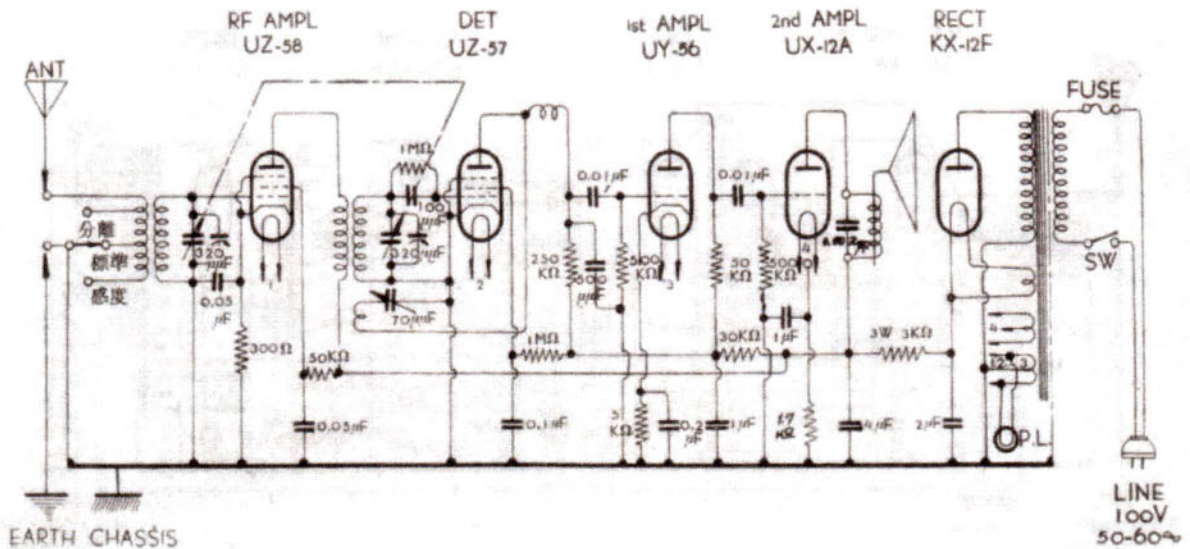
藝術的な直線美を以て飾られた優雅な意匠です。見れば見るほど魅惑が感ぜられます。

寸法

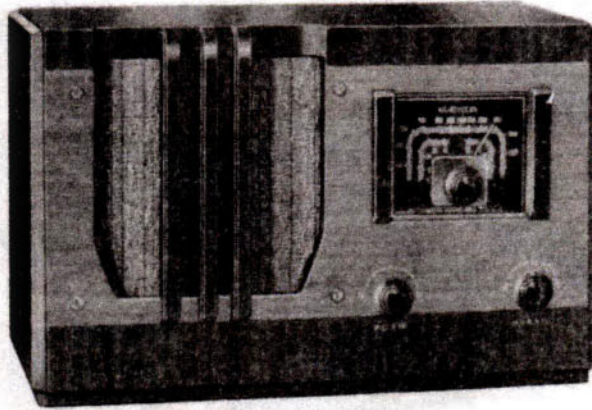
幅 377 mm × 高 239 mm × 奥行 178 mm

機構

1. 高周波増幅にはバリミュー管 UZ-58 を採用し感度分離に重点を置きました。
2. 高周波回路にはアンテナ切換スキツチを用ひ自由に調節出来ます。
3. 増幅管に UY-56 の使用に依り音質が一段と向上されました。



ナショナル受信機 R-4 D 型



寸法

幅 412 mm × 高 258 mm × 奥行 192 mm

使用球

UZ-58 UZ-57 UY-47 B KX-12 F

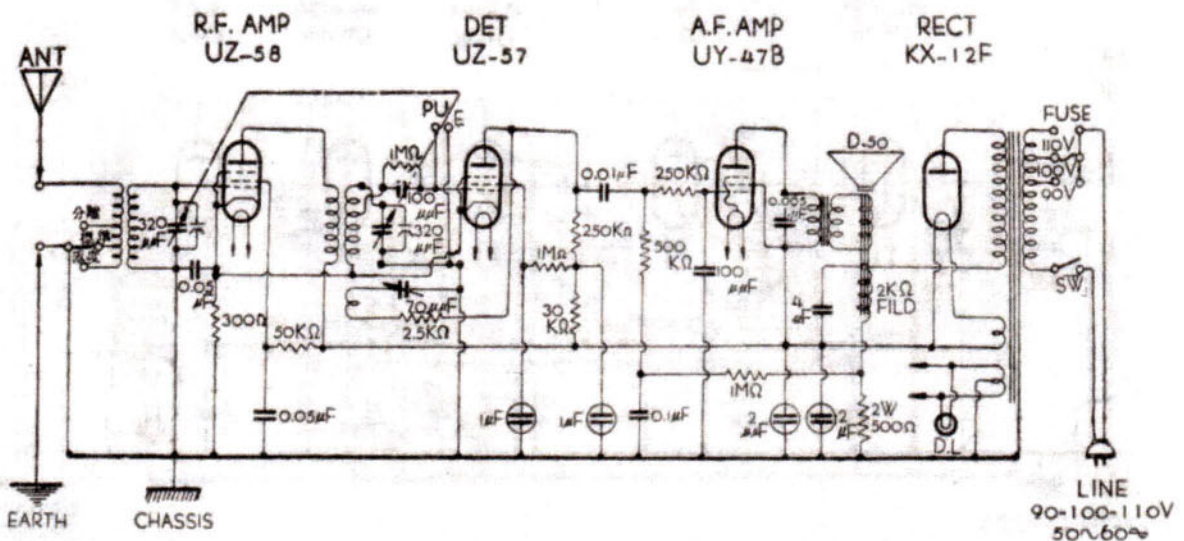
聴覚進む！弊社が豊富なる体験と圓熟せる技術とを傾け設計しました R-4D は優秀なる感度確實なる分離、清澄なる音量と相俟つてダイナミックセットの第一線を先驅せる超弩級の製品です。

キャビネット

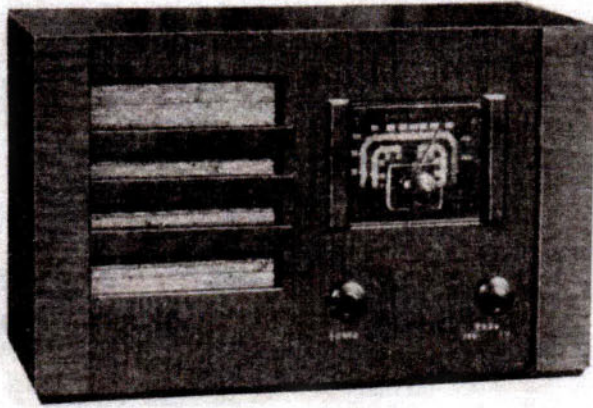
瀟洒なニュースタイル審美學上立派な極めて洗練された感覚が部屋の雰圍氣によく調和する奥床しい意匠です。

機構

1. 機構は高周波一段、再生グリッド検波、鋭敏な感度と明確な分離性を持つて居ます。
2. 低周波増幅には抵抗結合方式に半固定バイアス方式を採用し音聲周波数特性には充分の餘裕を示して居ます。
3. 御家庭向として理想的な弊社多年研究完成の小型ダイナミック¹ D-50 を用ひ美しい立体音をお傳へします。



ナショナル受信機 R-5 D 型



寸法

幅 412 mm × 高 258 mm × 奥行 192 mm

使用球

UZ-58 UZ-57 UY-56 UY-47 B
KX-12 F

最新の學理に基き眞に理想的な御家庭向ダイナミックとして完成致しました。本機の豊富な音量と的確な分離性は絶對他の追従を許さぬ独自の性能を備へて居ります。

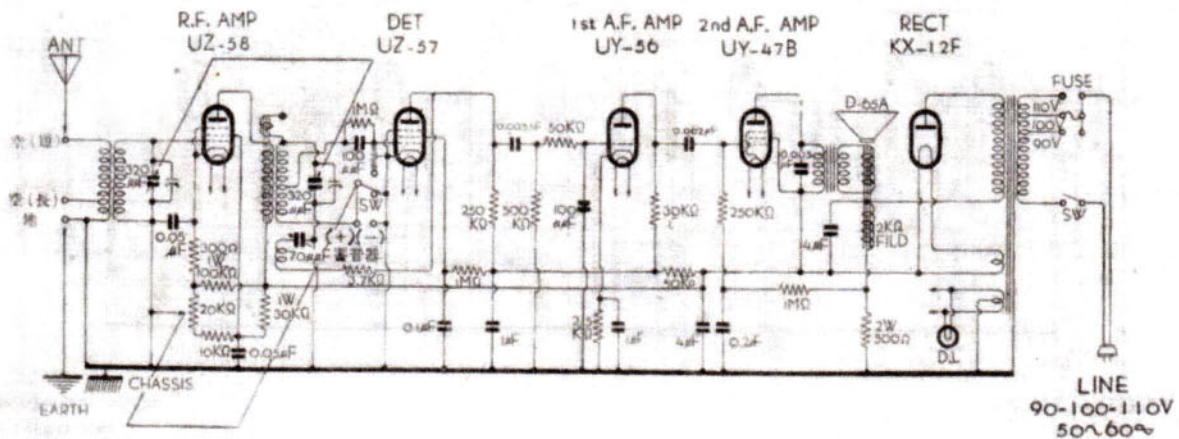
キャビネット

音響學的に慎重な考慮を拂ひ意匠は新時代調の豪壯な外觀美を備へ新興日本工

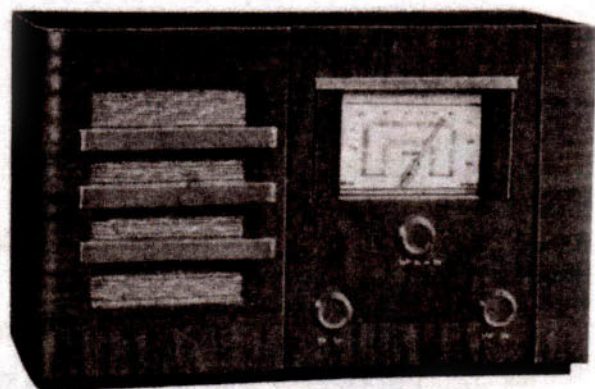
藝の粹を盛つた日本趣味豊かな嶄新なタイプです。

機 構

1. 高感度真空管の採用は勿論ドライバーにUY-56を用ひ出力管に充分なる入力を與へ更にD-50ダイナミックスピーカーの裝備に依つて音質を向上御期待に應へて居ります。
2. 高周波コイルにナショナルリツツイヤを使用し高周波抵抗を減少し分離が一段とよくなりました。
3. 本機の高周波コイルにはナショナルコーアを採用し素晴らしい感度を得るに成功しました。



ナショナル受信機 R-5 S 型



寸法

幅 440 mm × 高 273 mm × 奥行 198 mm

使用球

Ut-2A7 UZ-58 UZ-2A6
UZ-2A5 KX-80

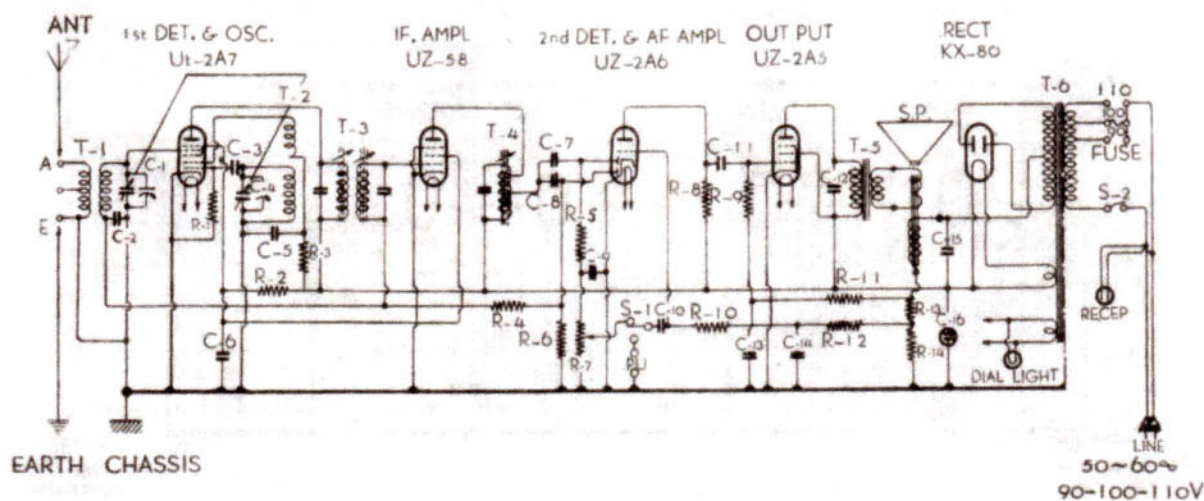
本機はスーパー獨特の卓越した感度と分離性を遺憾なく發揮致しました。従來到底不可能であつた、遠距離の放送も明確にキャッチ出來ます。

キャビネット

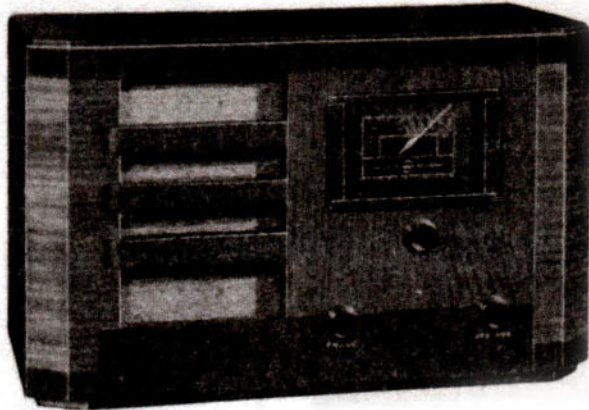
瀟洒な外觀美を備へ極上質ラッカーに依り艶出し仕上げを施し、従來のスタイルを破つた新様式で流麗典雅です。

機構

1. 5球スーパーとして最も高性能の回路方式を採用してゐます。即ち Ut-2A7 を第一檢波と局部發振に UZ-58 を中間周波増幅に UZ-2A6 を第二檢波と A.V.C. 並に第一段増幅として最も理想的な機構を備へてゐます。
2. テレアド A.V.C. . . . 非常に圓滑に動作する方式にて其のため一定した感度に於て聽取出來ます。
3. ナショナルマルチーコイル . . . スーパー用特殊鐵心ダストコアの採用に依つて感度を上昇しスーパーの生命たる分離が更に鋭くなりました。



ナショナル受信機 R-6 S 型



寸法

幅 530 mm × 高 320 mm × 奥行 237 mm

使用球

UZ-58 Ut-2A7 UZ-58
UZ-2A6 UZ-2A5 KX-80

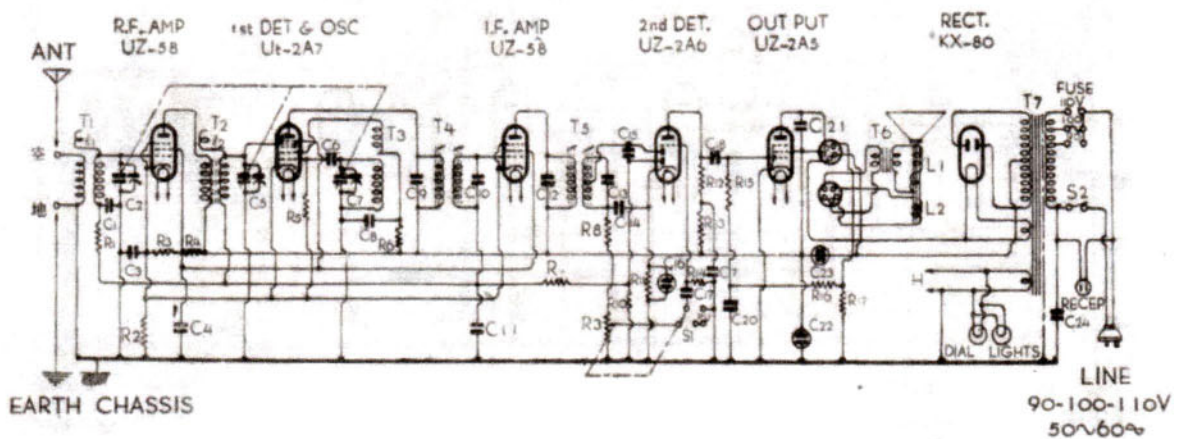
本機は東洋一の設備を誇るラヂオ工場に於て多年の経験と最新の學理に基き國産スーパーの最高基準として完成致しました 6 球スーパーヘテロダインであります。

キャビネット

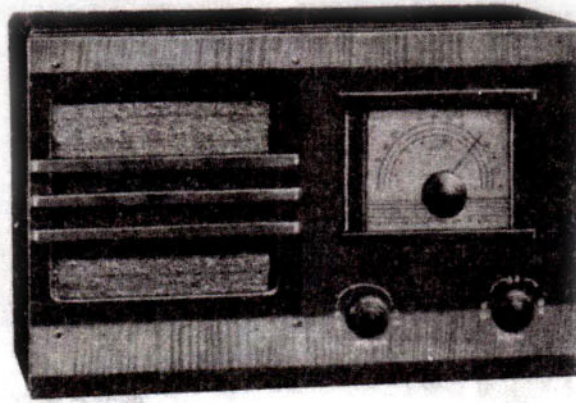
今新しい行方を示さんとする意匠部渾心の力作です。その洗練された調和美、華美に走らず、近代的階調は部屋の氣品を一段と引立せます。

機構

1. ナショナルトラッキングバリコン・・・従来では単一調整を行ふ場合受信周波帯の三點に於てのみ同調せしも、トラッキングバリコンに依れば 550KC-1500KC 迄全域に亘り同調出來、均一なる感度が得られます。
2. 理想に達した音質・・・理想なる原音再生 D-65 (6吋半) のダイナミックスピーカーの採用に依つて全音域にムラなく深みある音色を完全に再現致します。
3. フルビジョンダイヤル・・・選局容易且正確に聴取する事が出來、本機の持つ性能を遺憾なく發揮致します。



S-350型 受信機

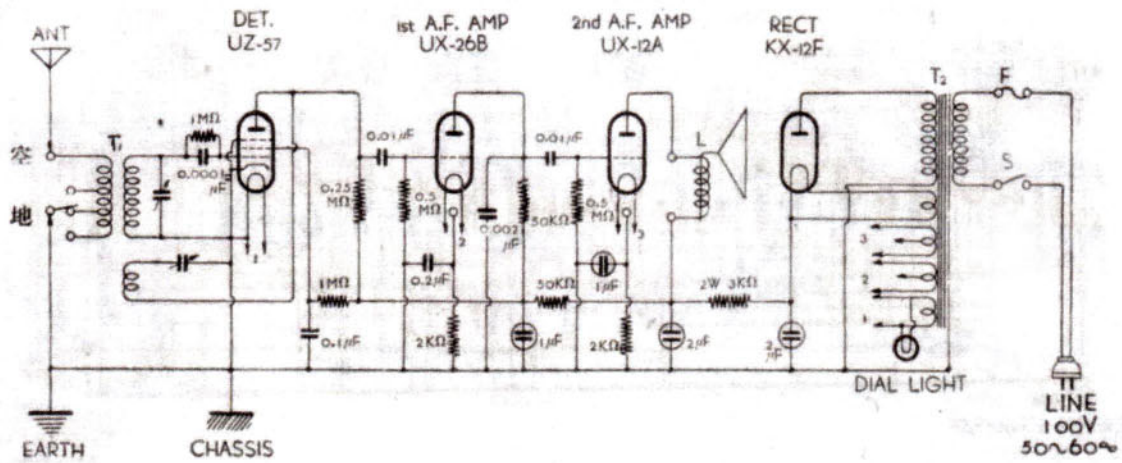


寸 法

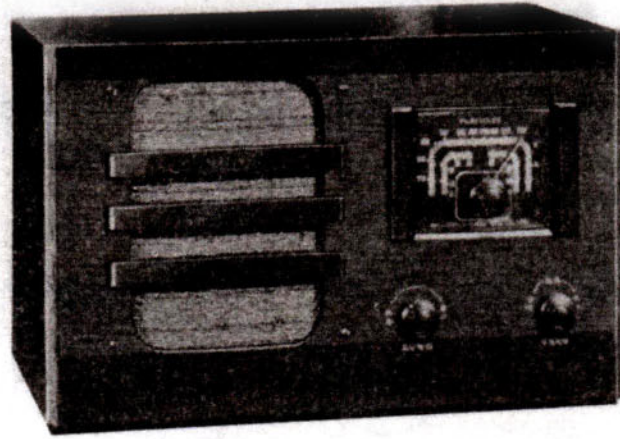
幅 377 mm × 高 239 mm × 奥行 178 mm

使 用 球

- UZ-57 再生グリッド検波
- UX-26B 第一低周波増幅
- UX-12A 第二低周波増幅
- KX-12F 半波整流



SD-10型 受信機



寸 法

幅 412 mm × 高 258 mm × 奥行 192 mm

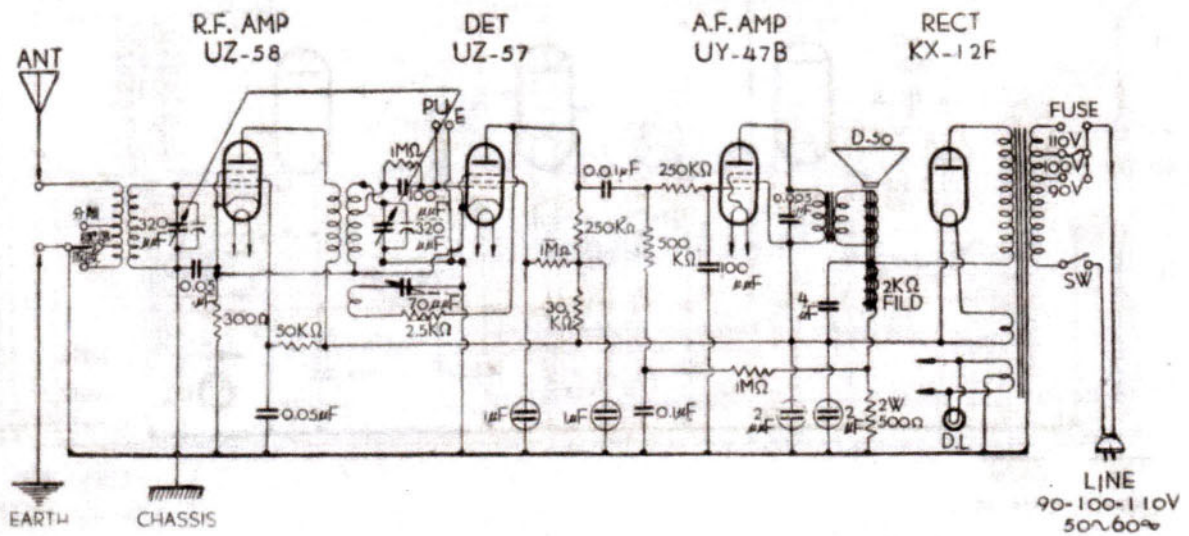
使 用 球

UZ-58 高 周 波 増 幅

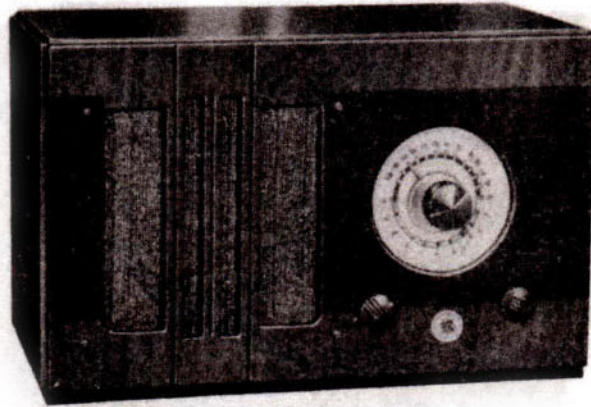
UZ-57 再 生 グ リ ッ ド 検 波

UY-47B 低 周 波 増 幅

KX-12F 半 波 整 流



普及型 I 號受信機



寸 法

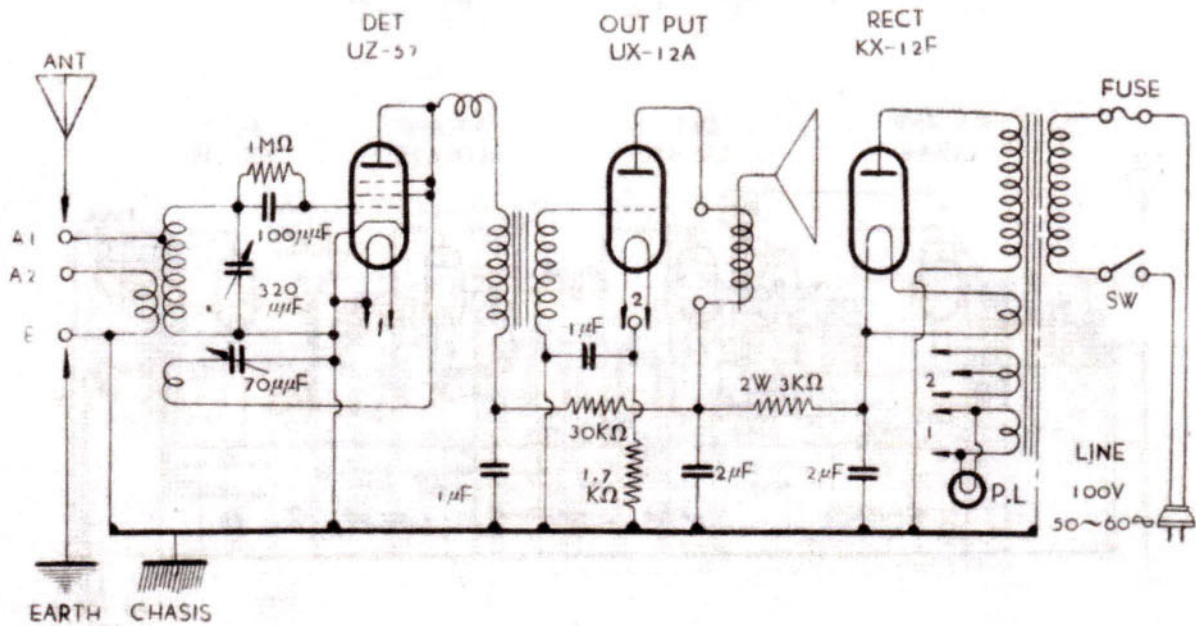
幅 311 mm × 高 193 mm × 奥行 157 mm

使 用 球

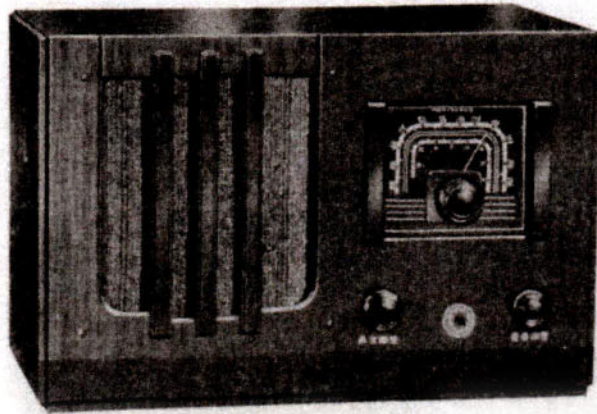
UZ-57 再 生 グリッド 検 波

UX-12A 低 周 波 増 幅

KX-12F 半 波 整 流



普及型 3 號受信機

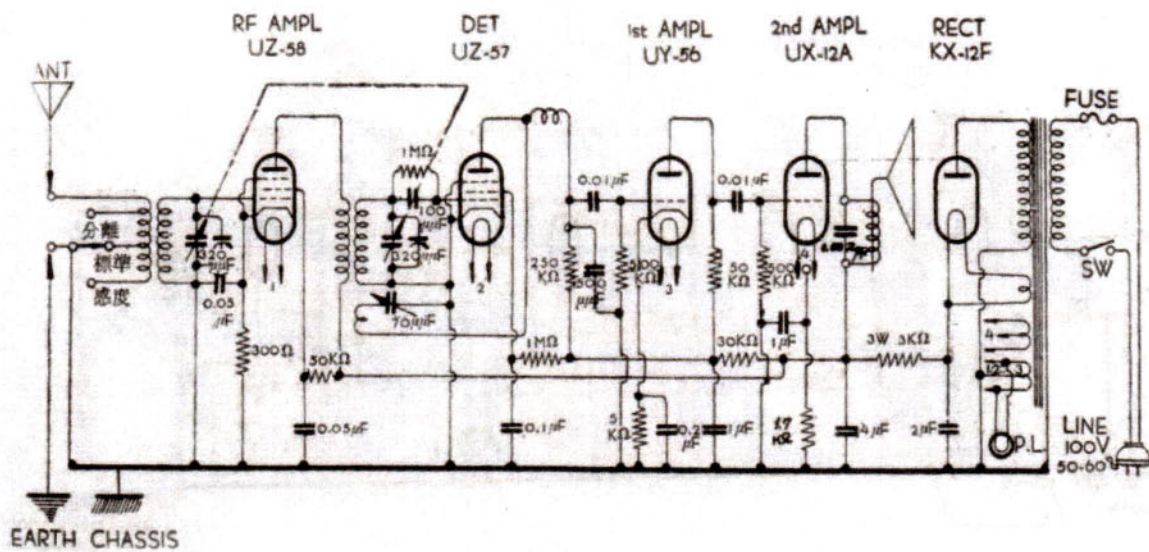


寸 法

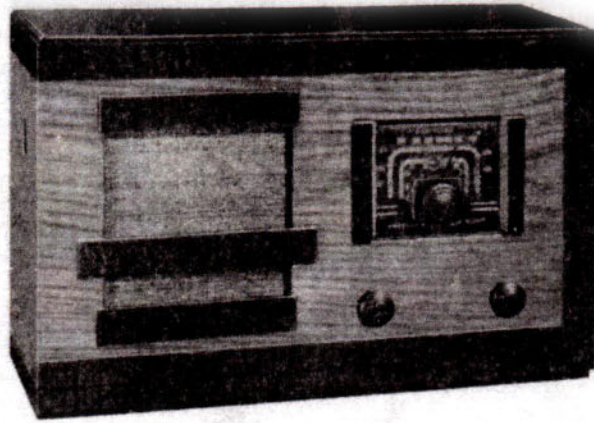
幅 397 mm × 高 239 mm × 奥行 178 mm

使 用 球

- UZ-58 高 周 波 增 幅
- UZ-57 再 生 グ リ ッ ド 檢 波
- UY-56 第 一 低 周 波 增 幅
- UX-12A 第 二 低 周 波 增 幅
- KX-12F 半 波 整 流



協和 I 號型受信機

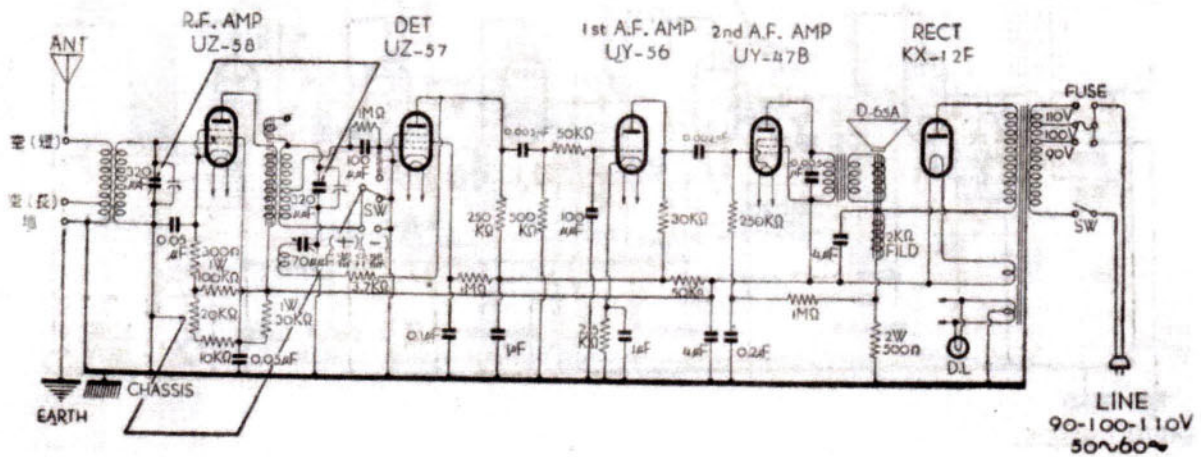


寸 法

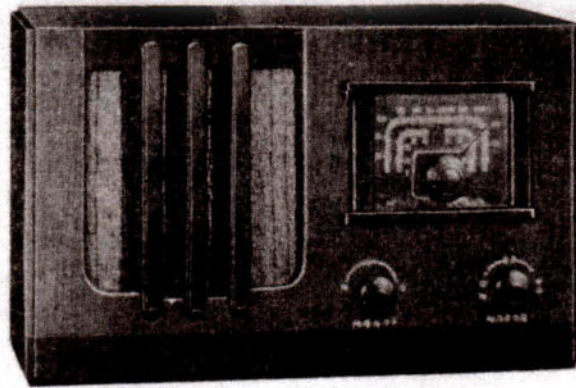
幅 437 mm × 高 273 mm × 奥行 192 mm

使 用 球

- UZ-58 高周波増幅
- UZ-57 再生グリッド検波
- UY-47B 低周波増幅
- KX-12F 半波整流



協和 2 號型 受信機

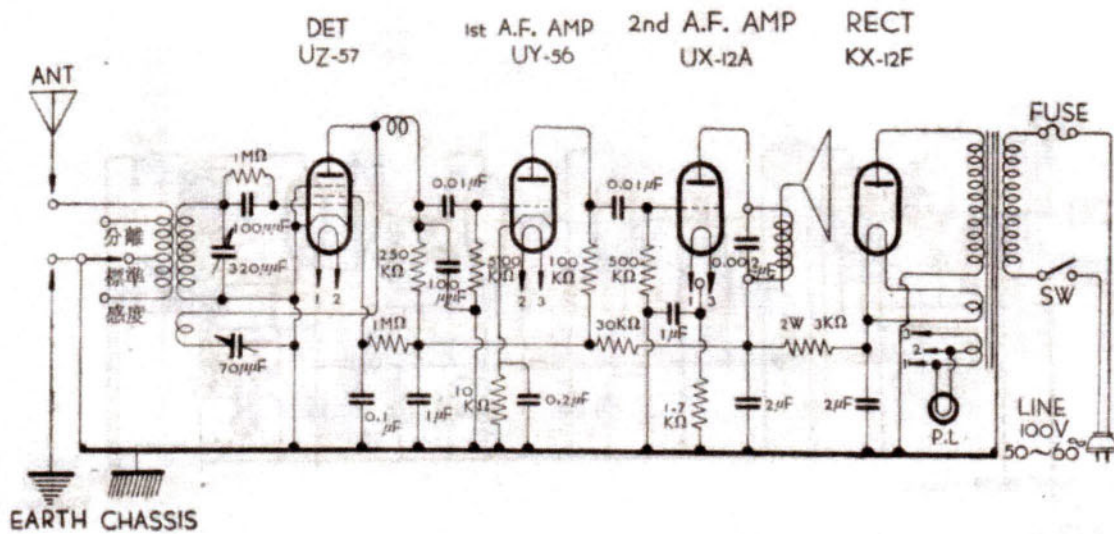


寸 法

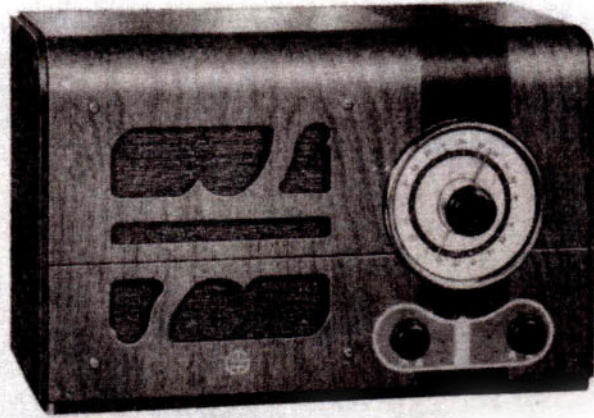
幅 390 mm × 高 239 mm × 奥行 161 mm

使 用 球

- UZ-58 高 周 波 増 幅
- UZ-57 再 生 グ リ ッ ト 検 波
- UZ-56 第 一 低 周 波 増 幅
- UX-12A 第 二 低 周 波 増 幅
- KX-12F 半 波 整 流



普及 A-11 號型受信機



寸 法

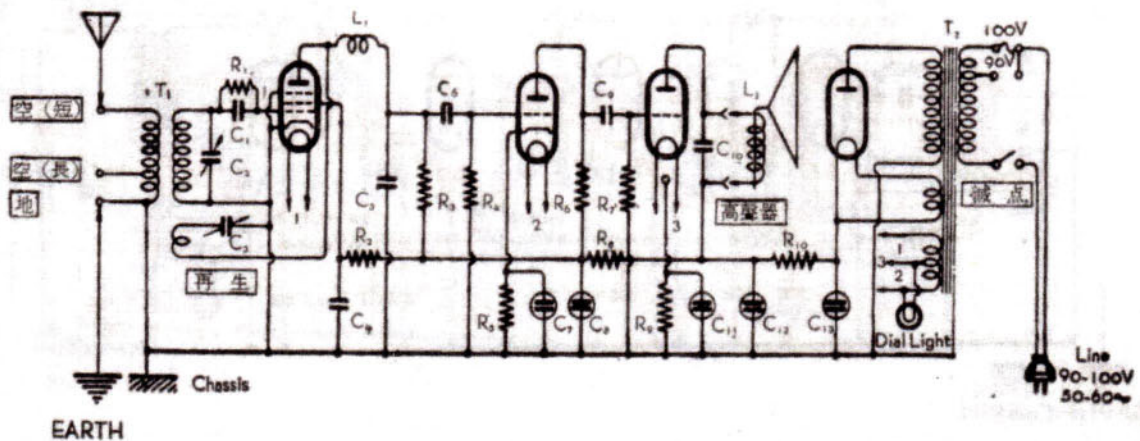
幅 374 mm × 高 237 mm × 奥行 157 mm

使 用 球

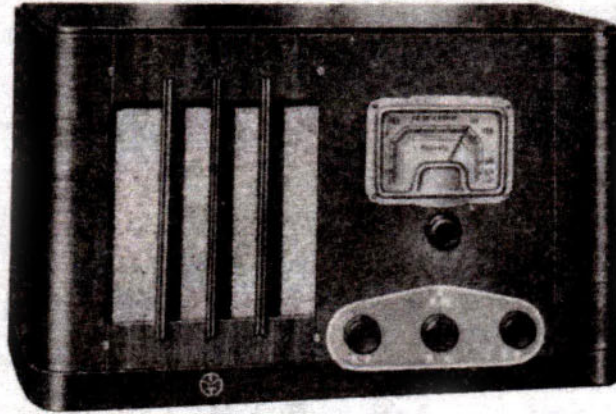
- UZ-57 再生グリッド検波
- UY-56 第一低周波増幅
- UX-12A 第二低周波増幅
- KX-12F 半波整流

受信周波数

550-1500 キロサイクル



標準 B-12 號型受信機



寸 法

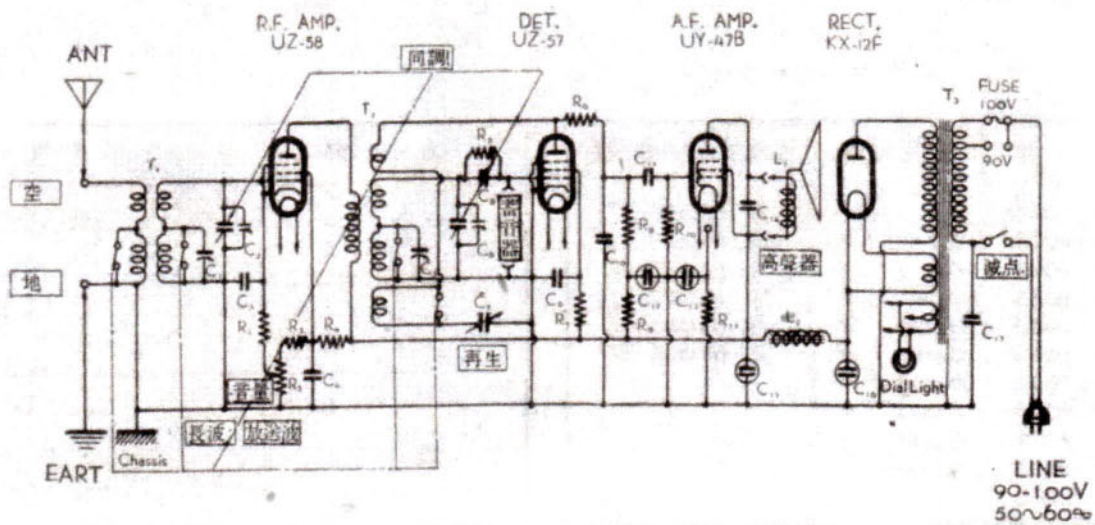
幅 422 mm × 高 247 mm × 奥行 195 mm

使 用 球

- UZ-58 高周波増幅
- UZ-57 再生グリッド検波
- UY-47B 低周波増幅
- KX-12F 半波整流

受信周波数

550-1500 キロサイクル 180 キロサイクル (長波帯)



ラジオ以外のページは省略



松下電器産業株式會社

大阪府北河内郡門真町 電話 { 堀川 4810・5810・5235
5236・4813
守口 12・78・502

松下電工株式會社	大阪府北河内郡門真町	電話 { 堀川 4832・6618 守口 436・443
本社工場	大阪府北河内郡門真町	電話 電工本社構内接續
十三工場	大阪市東淀川区野中南通一ノ一六	電話北 872・1578・4904
松下電動機株式會社	大阪府北河内郡門真町	電話 { 旭 3731・3732 堀川 4532 守口 259
本社工場	大阪府北河内郡門真町	電話 電動機本社構内接續
松下金屬株式會社	大阪府北河内郡三郷町	電話 { 堀川 7037-8 5365・4790 守口 425
本社工場	大阪府北河内郡三郷町	電話 金屬本社構内接續
東京出張所	東京市京橋區寶町二丁目七	電話京橋 4405・6834
小倉出張所	小倉市室町五丁目三九	電話小倉 413
松下無線株式會社	大阪府北河内郡門真町	電話 { 堀川 5639・5632・5633 守口 444・433・275
本社工場	大阪府北河内郡門真町	電話 無線本社構内接續
十三工場	大阪市東淀川区元今里北通五ノ六	電話北 7652・8169
東京研究所	東京市品川區東品川五丁目廿四	電話高輪 789・1076
松下電器株式會社	大阪府北河内郡門真町	電話 { 堀川 1373・4811・4812 守口 140・440・441
本社工場	大阪府北河内郡門真町	電話 電器本社構内接續
瀬戸工場	愛知縣瀬戸市山脇町二四一ノ四	電話瀬戸 2738
明石工場	明石市東王子町二丁目五五八	電話明石(長) 790
松下乾電池株式會社	大阪府北河内郡三郷町	電話 { 堀川 5731(3) 守口 307・210・423
本社工場	大阪府北河内郡三郷町	電話 乾電池本社構内接續 (專用) 守口 210
十三工場	大阪市東淀川区野中北通三ノ五	電話北 797
辻堂工場	神奈川縣高坐郡茅ヶ崎町字 小和田 3782	電話辻堂 45
東京アスファルト工場	東京市品川區大井鈴ヶ森町 一九二七	電話大森 6001
ナショナル蓄電池株式會社	神奈川縣高坐郡茅ヶ崎町字 小和田 3456	電話辻堂 105
ナショナル電球株式會社	大阪市東淀川區豐崎東通四	電話豐崎 1225・1226・441
本社工場		電話 電球本社構内接續
松下電器貿易株式會社	大阪市此花區大開町二ノ二五	電話此花 1658・5231-3
メキシコ駐在員事務所		
Mr. S. Hara. C/O "El Nuevo Japon" Apartado No. 801, Mexico, D. F., Mexico.		
松下電器商事株式會社	大阪市此花區大開町二丁目二五	電話此花 3108・3109

松下電器東京販賣株式會社	東京市芝區濱松町二ノ一三	電話芝③	4131-6
松下電器九州販賣株式會社	福岡市上小山町四七	電話東③	788・928
九州松下商事株式會社	福岡市中嶋町四六番地	電話東②	2181
松下鑄業株式會社	大阪府北河内郡三郷町	電話守日	407
營業所	大阪市北區中之島七丁目六十番地	電話土佐縣③	7060
株式會社ビームライト製作所	東京市蒲田區仲六郷三丁目六	電話蒲田	3537・4763
ナショナル工業株式會社	大阪府北河内郡三郷町	電話守日	428
滿洲松下電器株式會社	滿洲國新京特別市曙町三丁目一四	電話大和	6350
奉天營業所	奉天市大和區千代田通四〇 奉天貿易會館	電話	6804
大連營業所	大連市羽衣町二安東ビル内	電話③	4087
上海松下電業株式會社	上海市北四川路九八五	電話	45428・44230
本社工場	上海閘北青雲路一一〇號	電話湖北(02)	4129・6190 6191
松下電器産業株式會社販賣部	大阪府北河内郡門真町	電話	關川③4810・5810・5235 5236・4813 守日 12・78・502
名古屋出張所	名古屋市中區廣小路西通二丁目13	電話西	3333・3592
京城出張所	京城府高崎町二番地	電話龜山④長	133・1586
松下電器産業株式會社整理部	大阪府北河内郡三郷町	電話	救電池本社構内接續
サービスステーション	大阪 太阪市東區内久寶寺町四丁目一六	電話東④	3885
サービスステーション	京都 京都市河原町通竹屋町上ル 大文字町	電話上局③	6143
松下電器産業株式會社 官廳課東京出張所	東京市京橋區寶町二丁目七	電話京橋④	4405・6834
天津松下乾電池公司	天津河北大經路一二一號	電話六局	1521・1922・1898
松下電器社員養成所	大阪府北河内郡門真町	電話守日	323

友 社

增井電器株式會社	大阪市東成區大今里木町五ノ五二	電話南③	4370・4048
朝日乾電池株式會社	大阪府西成區龜見橋北通八丁目	電話櫻川④長	4505・2551 4506
松下電器製品配給株式會社	札幌市南一條通西七丁目一四	電話特長	4539・5458
扶桑電球株式會社	東京市品川區南品川五丁目六七	電話高輪④長	2759・6143
朝日乾電池販賣株式會社	大阪府西區江戶橋北通五丁目三四	電話土佐縣④	294・4409

松下電器全製品型錄

(非賣品)

昭和16年5月25日印刷

昭和16年6月1日發行

編輯兼發行人 增田貞祐
大阪府北河内郡門真町

印刷者 坂井純
大阪市東區糸屋町二丁目二〇

印刷所 坂井印刷所
大阪市東區糸屋町二丁目二〇

發行所

松下電器産業株式會社

大阪府北河内郡門真町 電話彌川(代表) 5235番